

JP

オリジナル指示書の翻訳

4

目次

1. 重要な安全措置	5	7.1.10 照明	20
2. はじめに	6	7.1.11 洗浄	21
2.1 本説明書の目的	6	7.1.12 スチームのプログラム	21
2.2 本説明書の読み方	6	7.1.13 カップウォーマー	22
2.3 本機の使用 に関する一般規則	7	8. クリーニングとメンテナンス	23
3. 安全ラベルとマーク	8	8.1 クリーニングとメンテナンスの頻度	23
3.1 識別プレート	9	8.2 コーヒー回路の洗浄	24
4. 本機の部品	9	8.2.1 コーヒーディスペンスグループ	24
5. 機器のコマンド	10	8.2.2 交互洗浄	24
5.1 給湯ボタン	10	8.2.3 一斉洗浄	26
5.2 ターボスチームセクター	10	8.2.4 単一洗浄	27
5.3 ディスプレイ	10	8.3 給湯器の水の交換	28
5.3.1 タッチスクリーン	11	8.4 ポータフィルターのクリーニング	29
5.3.2 ディスプレイアイコン	12	8.5 スチームワンドのクリーニング	29
6. 使用法	13	8.5.1 各使用後に	29
6.1 毎日のスタートアップ	13	8.5.2 一日の終わりに	29
6.1.1 スイッチの自動オン・ オフ	14	8.6 グリルとカップホルダートレイのクリー ニング	30
6.1.2 省エネモードによる スイッチオフ	14	8.7 排水トレイのクリーニング	30
6.2 コーヒーのディスペンス	14	8.8 機器の外側のクリーニング	30
6.3 熱湯のディスペンス	15	8.9 樹脂再生	30
6.4 スチームデリバリー	15	8.10 サービスメンテナンス	31
6.4.1 スチームワンド付デリバリー	16	8.11 クリーニング製品	31
6.4.2 ターボスチームワンド付デリバリー 16		9. 機器の廃棄	32
6.5 クイックすすぎ	16	10. 故障と不具合	33
6.6 グラインダードーサー	16	10.1 ステータス表示	34
7. プログラム	17	11. 技術データ	35
7.1 タッチスクリーン	17		
7.1.1 プログラムメニューへのアクセス	17		
7.1.2 プログラムメニュー	17		
7.1.3 オンの時間	17		
7.1.4 言語の選択	18		
7.1.5 カウンター	18		
7.1.6 用量のプログラミング(コーヒー)	19		
7.1.7 用量のプログラム(水)	19		
7.1.8 用量のプログラム(自己学習)	20		
7.1.9 省エネモード	20		

1. 重要な安全措置

本製品を使用する前に、本取扱説明書の内容をすべて注意深くお読みください。

本取扱説明書は、本機の使用を許可された全ての人が入手できるようにしてください。

NB: 製造者は、安全規則を遵守しなかったことによる人体への危害や物的損害について、一切の責任を負いません。

本機の使用

- 本機は、エスプレッソコーヒーやホットドリンクを湯またはスチームで抽出し、カップを予熱するためだけに設計されています。それ以外に使用することは不適切であり、危険であるとみなされます。
- 本機は業務用です。
- 本機は、正しい使用法について、安全面と衛生面で適切な訓練を受けた専門家のみが取り扱う必要があります。
- 意図された目的以外には使用しないでください。
- 熱湯/スチームの噴出、また機器の誤用により、火傷を負うことのないように注意してください。
- 熱湯、蒸気、コーヒーをディスペンスする際、火傷をする恐れがあります。
- 手や体の一部をコーヒーおよび熱湯のディスペンスグループやスチームデリバリーワンドに近づけないでください。
- ディスペンス中は、本機からポルタフィルターを取り外さないでください。
- 本機の一部は高温になる可能性があります。これらの部分に近づいたり作業したりする際には、最大限の注意が必要です。これらの部品には相対マークが付けられています（第3章を参照）。
- 本機の熱い表面に触れないでください。
- 本機は、安全管理責任者の監督下にある場合、またはその責任者から本機の使用方法について指導を受けている場合を除き、身体的、精神的、感覚的な能力が低下している、または経験や知識が不十分な人（8歳までの子供を含む）が使用することを意図していません。
- 8歳以上の子どもが本製品を使用する場合は、誤った、または危険な使い方をしないよう監督する必要があります。
- 子どもを本機で遊ばせないでください。
- 未成年者による本機の使用は（大人の監督の有無に関わらず）、労働関係を規定する現地の規制に反してはなりません。
- 本機のクリーニングとメンテナンスは、適切な訓練を受けた専門家の責任であり、監督のもとにいない子どもが行ってはなりません。
- 動作中は、本機から目を離さないでください。
- 本機は、風雨から保護された屋内でのみ使用してください。屋外では使用しないでください。
- 本機を風雨（雨、日光、霜）にさらしたままにしないでください。
- 氷点下になる可能性のある部屋に本機を保管する場合、給湯器と水循環パイプの水抜きを行ってください。
- カップウォーマープレートは、本機を使用する際に必要なカップやグラスを置くためだけに使用してください。
- カップウォーマープレートに乗せる前に、カップの水気をよく切ってください。
- カップウォーマープレートには、他の物を置かないでください。
- 機器および/またはカップウォーマーを布巾などで覆わないでください。
- ケーブルや本体を水やその他の液体に浸さないでください。
- 製造者が承認していないアクセサリを使用すると、火災、感電、人身傷害を引き起こす恐れがあります。
- メインスイッチを切る前に、機器本体のスイッチがオフになっていることを確認してください。
- ケーブルを引っ張ったり、濡れた手で触ったりしないでください。
- 濡れた手や素足で本機を操作しないでください。
- 傷害のリスクを軽減するために、ケーブルをテーブルやカウンターの端に掛けたままにしないでください。さもないと、子どもがケーブルを引っ張ったり、誤ってつまずいたりする可能性があります。
- 電源ケーブルを危険な場所に配置しないでください。
- 火災が発生した場合は、二酸化炭素(CO₂)消火器を使用してください。水や粉末消火器は使用しないでください。
- 騒音:加重音圧レベル:84.4 dB(A) ± 2.5 dB
- 保護装置および安全装置の点検とテストは、資格を持つ正規の担当者が定期的に行ってください。
- 安全ラベルは清潔に、完全に読み取れる状態に保ってください。
- 磨耗して判読できなくなったラベルは、同一の新しいラベルと交換し、同じ位置に貼り付けてください。

本機のクリーニング

- 本機のスイッチを切り、冷めるまで放置してから外装部品のクリーニングを行ってください。
- 本機に強力な噴流水をかけたり、本機の全部または一部を水に浸したりしないでください。
- 食品と接触する素材に損傷を与えない洗浄剤のみを使用してください。
- 外装部品と付属品は、湿らせた布で拭いてから、研磨剤の入っていない乾いた布で拭いてください。アンモニアや研磨剤を含む製品は使用しないでください。
- ボディパネルの隙間に液体をスプレーしないでください。
- 本説明書で説明されているクリーニングとメンテナンス作業は、指示された頻度で実施する必要があります。
- 本機のクリーニングの詳細については、第8章を参照してください。

長期間使用しない場合

長期間使用しない場合(例えば、数日間休業する場合):

1. 本機の電源投入が必要なクリーニング作業を行います(第8章を参照);
2. 本機の電源を切り、次にメインスイッチを切ります;
3. 電源を必要としないクリーニング作業を行います(第8章を参照);
4. 給水栓を閉めます。

不具合が生じた場合

- 本機が故障している場合は、機器のスイッチを切り、メインスイッチを切ってから、技術サポートサービスにご連絡ください。
- 電源ケーブルが損傷した場合は、本機の電源を切り、技術サポートサービスから交換品を注文してください。
- 修理が必要な場合は、必ず技術サポートサービスに連絡し、純正スペア部品の使用を依頼してください。これらの指示に従わない場合、本機の状態や安全性が損なわれ、保証が無効になることがあります。

本機の不適切な使用

- 本説明書に記載されていない本機の使用方法は、いずれも不適切であり危険とみなされます。
- 不適切、不正確または不合理な使用による傷害や損害について、製造者は一切の責任を負いません。
- 本説明書に記載されている指示に従わない場合、本機の状態や安全性が損なわれ、保証が無効になることがあります。

2. はじめに

2.1 本説明書の目的

本取扱説明書で扱われている機器はM40コーヒーメーカーであり、以下のバージョンがあります:

- DT2
- DT3
- DT4

本機の製造者:

Cimbali Group S.p.A.

Via A. Manzoni, 17

20082 Binasco (MI), Italy

本説明書には、本機の使用(標準的な使用とメンテナンス)を許可された担当者に向けた情報が記載されています。

2.2 本説明書の読み方

本説明書は章と段落に分かれています。各段落は関連する章のサブレベルです。タイトルや段落に言及する際は、「第～章」または「段落～」のように表記します。例:「第2章」または「段落2.1」

本説明書の図には、特定の章に関連して順番に番号が付けられています。例えば、図1.3は、第1章の3番目の図を意味します。図に言及する際は、「図」とそれに続く相対番号で表記します。例:「図1.3」図中の構成部品は、状況に応じてアルファベットまたは数字で表記されます。例えば、第3章の図2で構成部品Cに言及する場合、次のようになります:「C - 図3.2を参照」または、単に「(C - 図3.2)」。

注意:本説明書に掲載されている写真は、一般的な表示を意図しています。実際の構成部品は、表示されているものと異なる場合があります。疑問がある場合は、技術サポートサービスにお問い合わせください。

本説明書には、使用およびメンテナンスに関する指示のほかに、特別な注意を必要とする安全情報も記載されています。その情報は次のように強調表示されています:

危険:この表示を無視した場合、差し迫った危険な状況につながり、それを回避しなければ、直ちに死亡または重傷/恒久的な傷害を負うことになります。

警告:この表示を無視した場合、潜在的に危険な状況が生じ、回避しなければ死亡または深刻な健康被害を引き起こす可能性があります。

注意:この表示を無視した場合、潜在的に危険な状況が生じ、回避しなければ本機に軽度の損傷を引き起こす可能性があります。

NB: (これまでの安全に関する指示やメッセージに加えて) 追加情報が記載されています。

2.3 本機の使用に関する一般規則

本機を使用する前に、本説明書の警告と指示をよくお読みください。安全に、正しく、衛生的に使用するための重要な情報が記載されています。



注意:給湯器の水は少なくとも1日に1回は交換する必要があります。

注意:本説明書は、今後参照できるよう保管してください。

警告:設置、分解、調整、安全点検は、資格を有する正規技術者のみが行ってください。

3. 安全ラベルとマーク

警告:安全ラベル (Fig. 3.1を参照) は、清潔で完全に読み取れる状態に保ってください。磨耗して判読できなくなったラベルは、同一の新しいラベルと交換し、同じ位置に貼り付けてください。

マーク	説明
	注意:電気の危険
	注意:熱い表面 このマークが表示されている部分に接近したり、そこで作業したりする場合は、最大限の注意を払ってください。

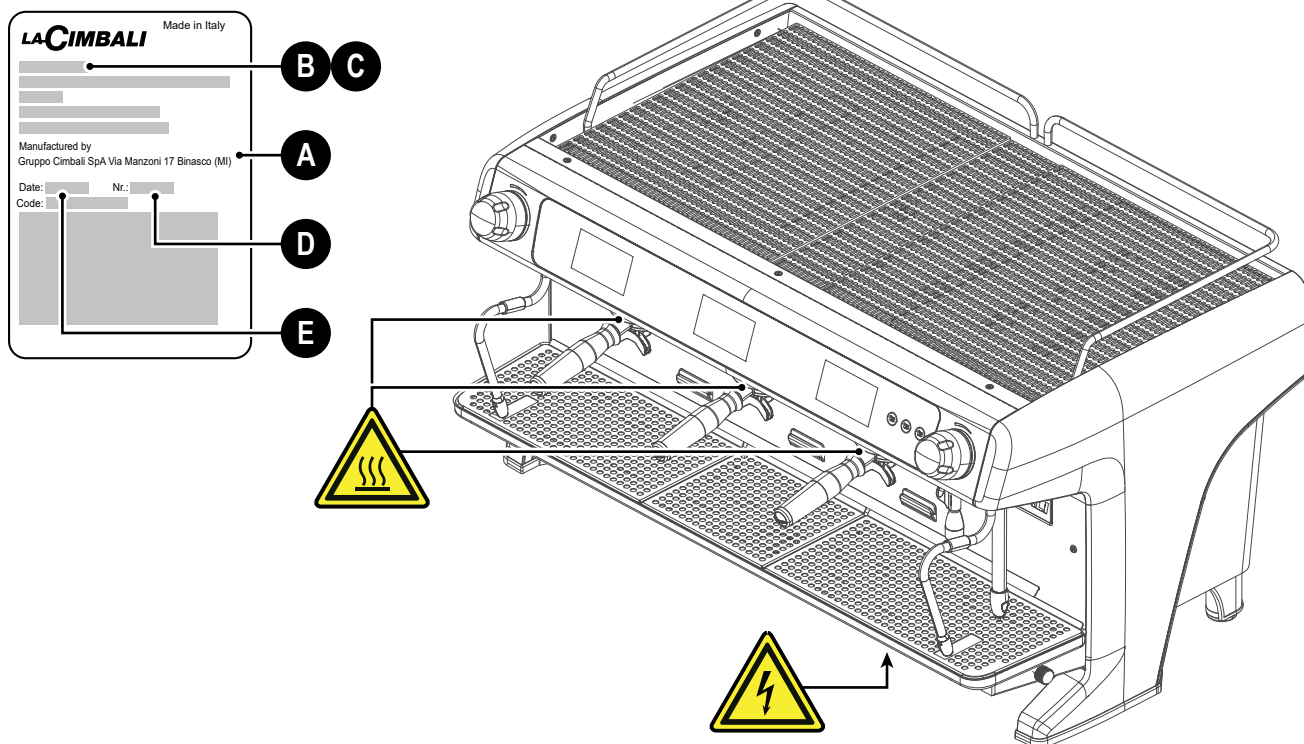


Fig. 3.1 - 本機のラベル

3.1 識別プレート

識別プレート (Fig. 3.1を参照) は本機に直接取り付けられています。

注意: 識別プレートは取り外さないでください。プレートが破損、および/または読み取れなくなった場合は、技術サポートサービスまでご連絡ください。

識別プレートには以下のデータが記載されています:

- A. 製造者の詳細
- B. 機械型式
- C. 機械の種類
- D. シリアル番号
- E. 製造年月

4. 本機の部品

本機の部品については、Fig. 4.1を参照してください。

- 1. メインスイッチ
- 2. ディスプレイ
- 3. ポンプ圧力計
- 4. 給湯口
- 5. スチームワンド
- 6. ターボスチームワンド (オプション)
- 7. ポータフィルター
- 8. 給湯ボタン
- 9. カップホルダーグリル
- 10. スチームデリバリーノブ
- 11. カップウォーマープレート

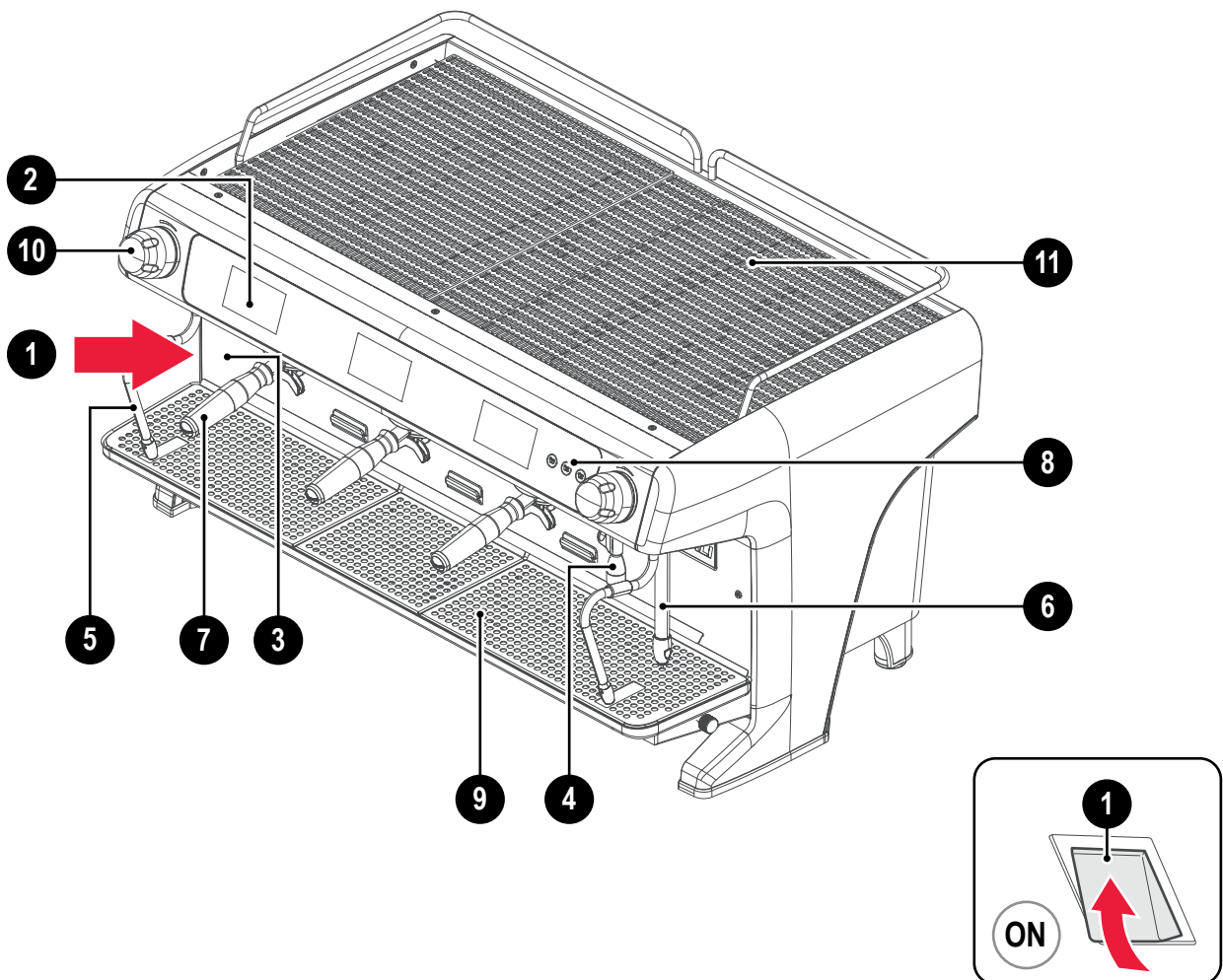








Fig. 4.1 - 本機の部品

5. 本機のコマンド

本機のコマンドについては、Fig. 5.1を参照してください。

1. 用量1ディスペンスボタン/アイコン 
2. 用量2ディスペンスボタン/アイコン 
3. 用量3ディスペンスボタン/アイコン 
4. 用量4ディスペンスボタン/アイコン 
5. 連続ディスペンスボタン/アイコン...
6. フラッシュボタン  (段落6.5を参照)
7. メニューアイコン  (サービスディスプレイのみ)

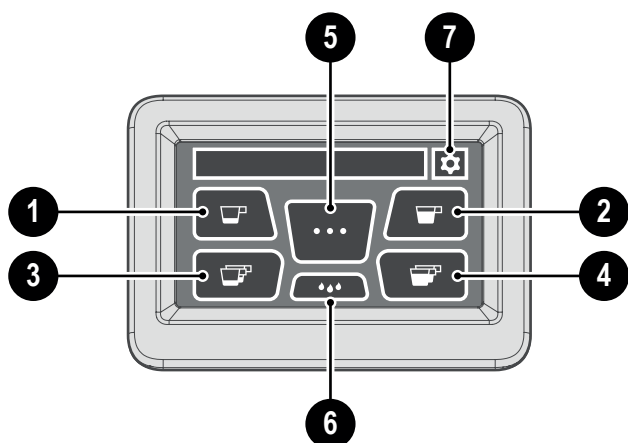





Fig. 5.1 - タッチスクリーンのコマンド

5.1 給湯ボタン

1. 給湯量1ボタン 
2. 給湯量2ボタン 
3. 給湯量3ボタン 

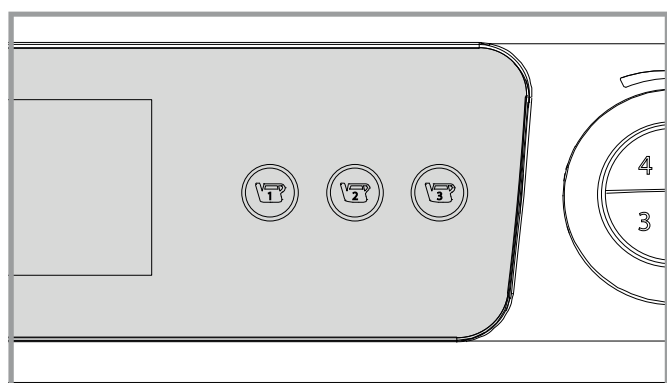


Fig. 5.2 - 給湯ボタン

5.2 ターボスチームセクター

1. ホットミルク
2. 泡立てたミルク(最低泡立ちレベル)
3. 泡立てたミルク(中程度泡立ちレベル)
4. 泡立てたミルク(最高泡立ちレベル)

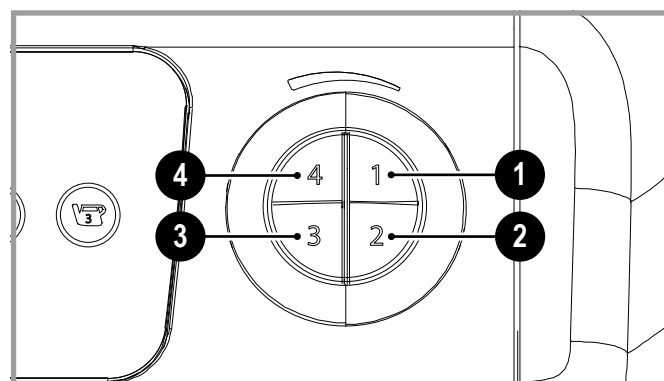


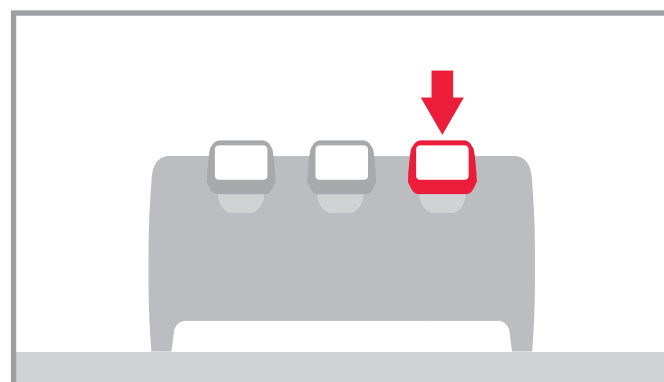
Fig. 5.3 - ターボスチームセクター

5.3 ディスプレイ

各ディスペンスグループには、本機に関するコマンドや情報を表示するディスプレイがあります。

サービスディスプレイ

右側のディスペンスグループ(サービスディスプレイ)のディスプレイから、本機のプログラム機能(第7章を参照)を表示して操作できます。



5.3.1 タッチスクリーン

通常操作中は、ディスプレイにメインディスペンスメニュー(Fig. 5.1を参照)が表示され、ボイラー温度(Fig. 5.4を参照)が表示されます。

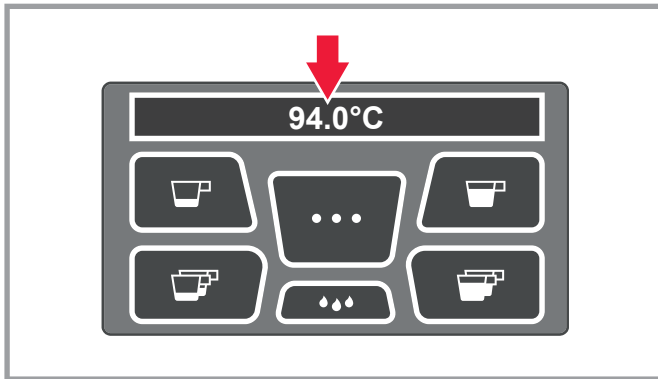


Fig. 5.4 - ボイラー温度

5.3.1.1 メインスクリーン

メインスクリーンを表示するには、ディスプレイ上のアイコン4を押します(図5.5参照)。

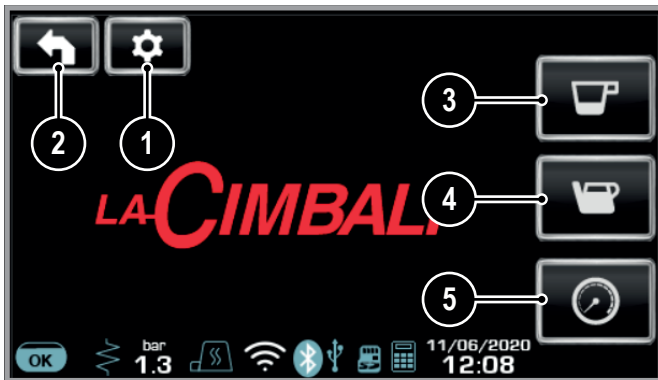


Fig. 5.5 - メインスクリーン

メインスクリーンには次のコマンドがあります。

1. 押すと、プログラミングメニューが表示されます(第7章を参照)。
2. 押すと、前画面またはメニューに戻ります。
3. 押すと、ディスペンスメニューが表示されます。

NB: 右側のグループは定義済みのものです。他のグループを調整するには、該当するボタンのいずれかを押します。



Fig. 5.6 - グループボタン


















4. 押すと、熱湯ディスペンスメニューが表示されます。熱湯ディスペンスメニューでは、ディスプレイから給湯ボタン(段落5.1を参照)の機能を実行できます。



Fig. 5.7 - 給湯ボタン

5. 押すと、給湯器圧力メニューが表示され、圧力計をアナログ形式で表示します。

5.3.2 ディスプレイのアイコン

説明	タッチスクリーン
1. プレインフュージョン:プレインフュージョン段階の継続時間	
2. ディスペンス:ディスペンス段階の継続時間	
3. ボイラー温度	
4. 操作の総進行状況	
5. 給湯器内の水位 充填段階;アイコンの下部が交互のモードで表示されます。	 
6. 給湯器内の水位 最適レベルに到達しました。	
7. 給湯器抵抗器 抵抗器が有効で作動しているとき、このマークには光の流れがよりはっきりと表示されます。	
8. 給湯器抵抗器 給湯器の定義圧力に到達しました。	
9. 給湯器抵抗器 作動停止。	
<p>NB: 使用者が電気ヒーター機能を作動/解除することはできません。オン/オフ機能がプログラムされると、電気ヒーターが自動的に作動します。</p>	
10. 給湯器圧力 給湯器の圧力値。	
<p>アイコンを押すと、圧力計がアナログ形式で表示されます。もう一度押すと、標準のディスプレイ表示に戻ります。</p>	
11. カップウォーマー カップウォーマーの電源が選択されています。	
	オフ     最大。
12. Wi-Fi 本機にはWi-Fiモジュールが取り付けられています。	

説明	タッチスクリーン
13. Bluetooth 本機にはBluetoothモジュールが取り付けられています。	
14. Bluetooth 本機はBluetoothグラインダードーサーと通信しています。	
15. USB 本機にはUSBペンドライブが接続されています。	
16. SD 本機のCPUボードにはSDマイクロメモリーが搭載されています。	
17. 支払システム ディスペンスが支払システムで有効化されていません。	
18. 支払システム ディスペンスが支払システムで有効化されています。	
<p>NB: 支払システムアイコンは、本機が支払システムインターフェースに接続されており、それで作動するように設定されていることを示します。したがって、ディスペンスには支払システムへの同意が必要です。</p>	
流量チェック グラインダーを緩める必要があります(コーヒーの流量が基準値より少ない)。	
流量チェック グラインダーを締める必要があります(コーヒーの流量が基準値より多い)。	
<p>NB: 詳細については、本機とともに使用するグラインダードーサーの取扱指示書を参照してください。</p>	

Tab. 5.1 - ディスプレイのアイコン

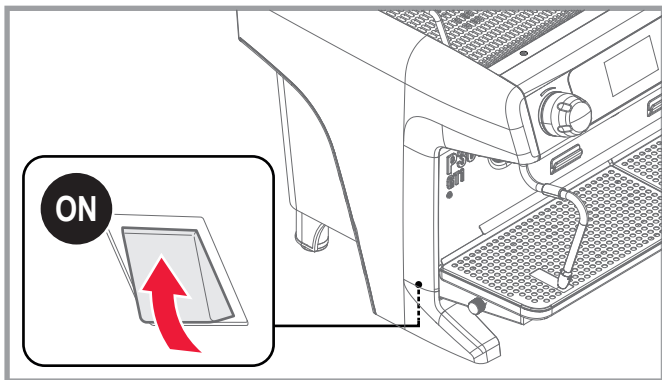
6. 使用法

警告:本機の動作中に、手や体の一部をコーヒーマシンや熱湯のディスペンスグループやスチームデリバリーワンドに近づけないでください。

6.1 毎日のスタートアップ

注意:本機を作動させる前に、主電源スイッチと主給水栓がオンになっていることを確認してください。

- メインスイッチ(1 - Fig. 4.1)を押して、本機の電源を入れます。

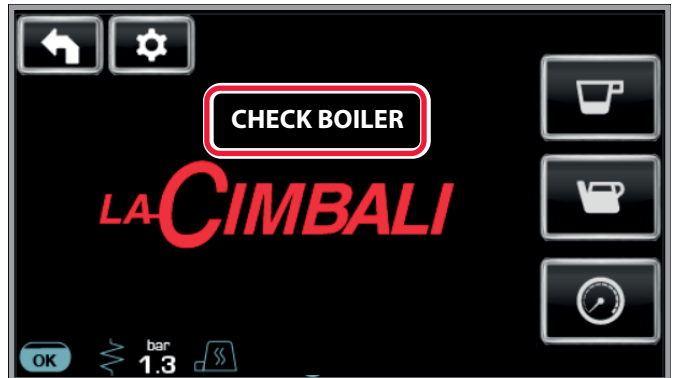


- 水位が最低水位を下回っているときは、給湯器の水は最適水位に達するまで補充されます。
- この段階が終了すると、サービスディスプレイの下部にアイコン6 - Tab. 5.1が表示されます。

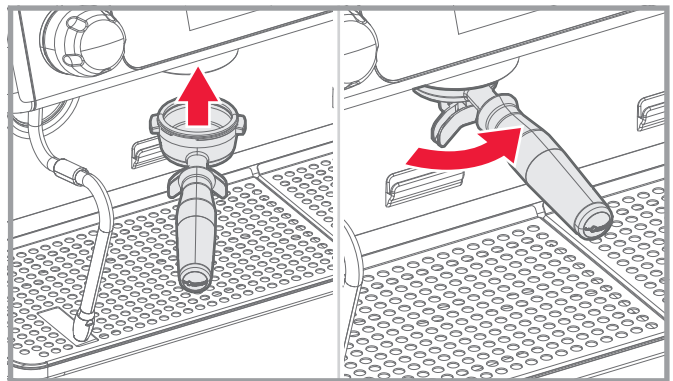


- この段階でボイラーも充填され、加熱が始まります。
- CHECK BOILER(ボイラーを確認)」のメッセージがサービスディスプレイに表示されます。規定された作動圧力に達すると、本機は使用可能な状態になります。

NB: ディスペンスボタンを押すと、現在到達している温度でディスペンスが行われます。適正作動圧力値に達するまで、他のボタンはすべて無効になります。



- 本機の作動準備が整うのを待つ間に、ポータフィルタ(10 - Fig. 4.1)をディスペンスグループに挿入します。



- サービスディスプレイに必要な作動圧力値が表示されたら、本機の準備は完了です。



6.1.1 スイッチの自動オン/オフ

本機は、プログラムされた時間にスイッチオン/オフするように設定できます。詳細については、段落7.1.3.1を参照してください。

自動オン/オフモードでは、本機のスイッチを切ると、ディスプレイの輝度が下がり、カップウォーマープレートの加熱が停止します。

NB: メインスイッチで本機のスイッチをオフにすると、自動スイッチオンはできません。

6.1.2 省エネモードによるスイッチオフ

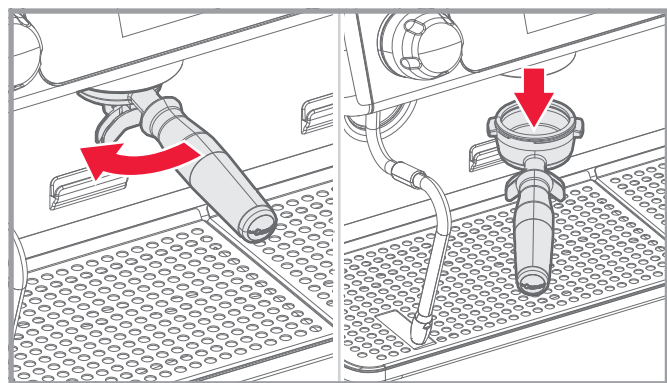
スイッチオフの間、本機を省エネモードに設定できます。これは、抵抗器が完全には停止せず、給湯器の圧力が0.2 barに保たれることを意味します。

NB: 省エネスイッチオフの翌日が休業日である場合、本機は24時間完全にスイッチオフになり、休業日の終了時に通常の0.2 barの給湯圧力に戻ります。

6.2 コーヒーのディスペンス

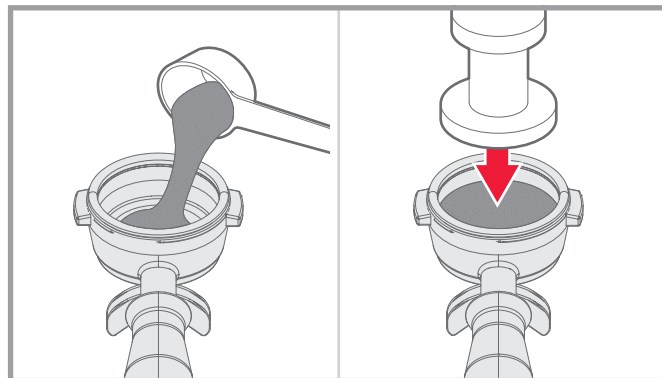
NB: 本機を1時間以上使用しない場合、適切なディスペンスを行う前に、約100mlの無負荷ディスペンスを実行してください。8時間使用しなかった後、無負荷ディスペンスサイクルを各グループで約1分間実行してください。

- ポルタフィルター(10 - Fig. 4.1)を器具から取り外し、前のコーヒーのかすを取り除きます。

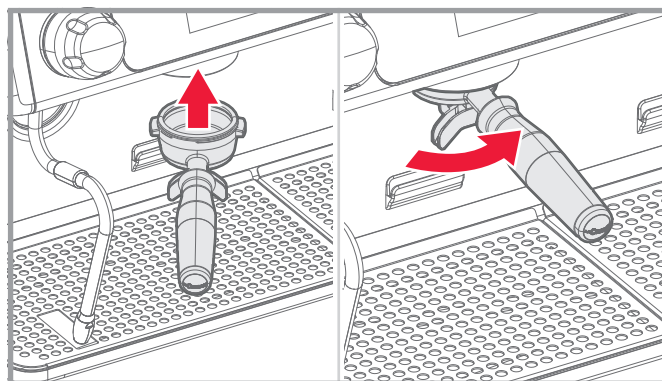


- 1方向の注ぎ口と円錐形フィルターを備えたポルタフィルターの場合: ポルタフィルターに挽いたコーヒーを1用量入れます。
2方向の注ぎ口と円筒フィルターを備えたポルタフィルターの場合: ポルタフィルターに挽いたコーヒーを2用量入れます。

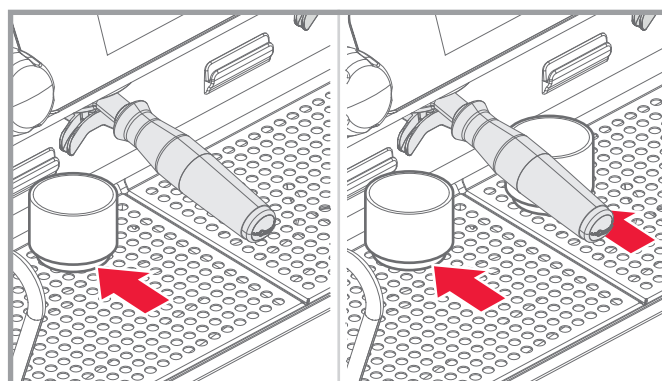
- グラインダータンパーまたは本機本体に付属のタンパーを使い、挽いたコーヒーをフィルターに均等に押し込みます。
- フィルターの端に残っている挽いたコーヒーの残留物を取り除きます。



- ポルタフィルター(10 - Fig. 4.1)をディスペンサーグループに挿入し、しっかりと締めます。

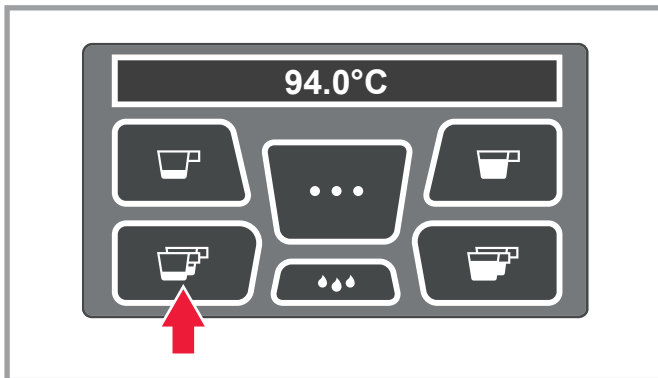


- 1方向の注ぎ口と円錐形フィルターを備えたポルタフィルターの場合: ディスペンサーグループの下にカップを置きます。
2方向の注ぎ口と円筒フィルターを備えたポルタフィルターの場合: ディスペンサーグループの下に2つのカップを置きます。

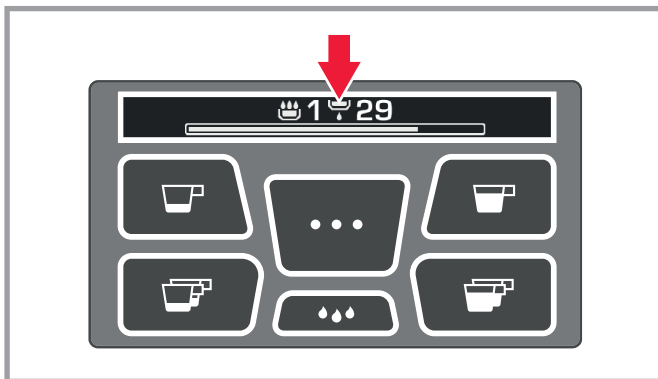


- 必要な用量に対応するディスペンスボタン(☐/☐/☐/☐)を押します。

警告: コーヒーのディスペンスが終了する前に、ポルタフィルターを本機から外さないでください。



- プレインフュージョン段階が始まります(ディスプレイにはアイコン1 - Tab. 5.1が表示される)。
- インフュージョン段階が終了すると、ディスペンスが開始されます(ディスプレイにはアイコン2 - Tab. 5.1が表示される)。



- 設定量に達すると、ディスペンスは自動的に停止します。
- スタンバイ状態に戻る前に、ディスプレイにディスペンスパラメーターが数秒間表示されます: ディスペンス継続時間とインフュージョン段階継続時間の合計
- ...ボタンを押すと、連続ディスペンスができます。
- 指定量ディスペンス(☐/☐/☐/☐)と連続ディスペンス(...)のどちらの場合も、...ボタン、または他のいずれかの指定量ディスペンスボタン(☐/☐/☐/☐)を押すことで中断できます。

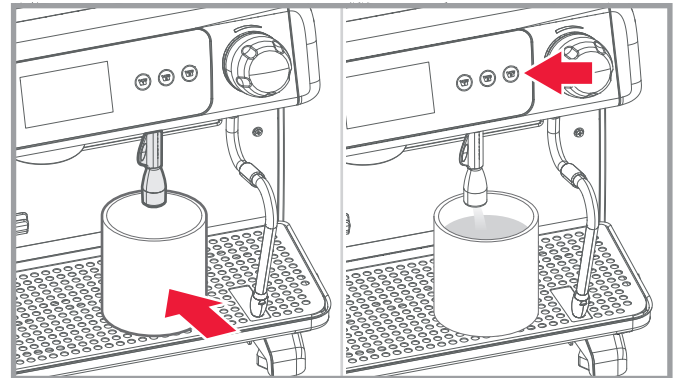
NB: ...ボタンは「指定量」としてもプログラミングできます。

6.3 熱湯ディスペンス

警告: 火傷の危険; 水およびスチームパイプを取り扱う際は、適切な断熱器具を使用してください。

NB: 本機を1時間以上使用しない場合、適切なディスペンスを行う前に、約200mlの無負荷ディスペンスを実行してください。

- 適切な大きさの容器を熱湯ディスペンサー(6 - Fig. 4.1)の下に置きます。
- 必要な用量(☑1/☑2/☑3)に対応する給湯量ボタンを押します。



- 設定量に達すると、ディスペンスは自動的に停止します。
- 前に選択したボタンを再度押すことで、ディスペンスを中断できます。

6.4 スチームデリバリー

警告: 火傷の危険; 水およびスチームパイプを取り扱う際は、適切な断熱器具を使用してください。

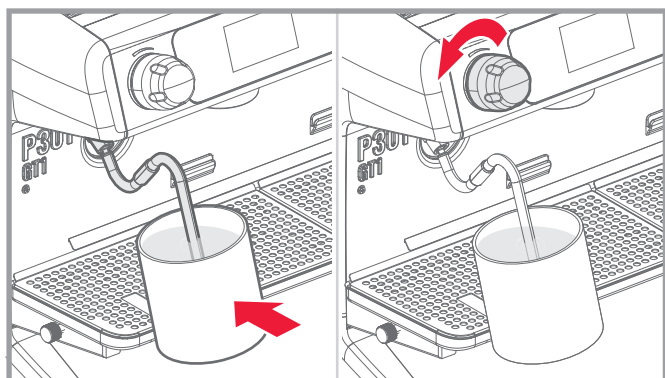
警告: 使用後は必ずスチームワンドを洗浄してください(段落8.5.1を参照。)

NB: スチームワンドを使用する前に、少なくとも3秒間はスチームを出して、結露を確実に放出してください。

NB: 8時間使用しない場合は、ワンドをカップホルダートレイに向け、少なくとも1分間スチームを放出してください。

6.4.1 スチームワンドでのスチーム供給

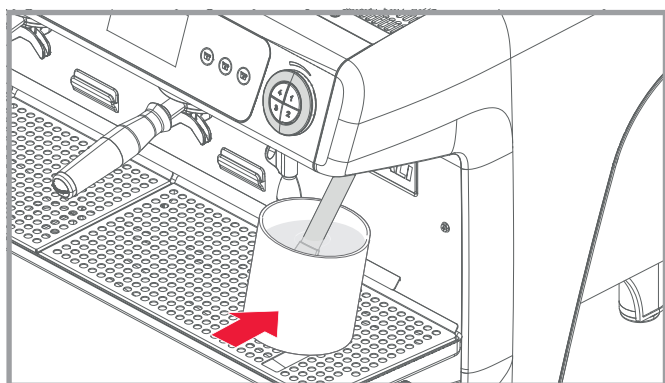
- スチームワンド(7 - Fig. 4.1)を、温めたい飲料の入ったジャグに差し込みます。
- ワンドノブ(13 - Fig. 4.1)を反時計回りに回し、スチーム供給を開始します。



- 必要な温度または乳化レベルに達したら、ノブ(13 - Fig. 4.1)を時計回りに回してスチーム供給を停止します。

6.4.2 ターボスチームワンドによるスチーム供給

- 温めたい飲料の入ったジャグにターボスチームワンド(8 - Fig. 4.1)を差し込みます。
- 必要なスチーム供給に対応するターボスチーム選択ボタン(9 - Fig. 4.1)を押します。(段落5.2を参照)。



NB: 供給中、選択した泡立ての種類はタッチスクリーンで確認できます。

- 必要な温度または泡立てレベルに達すると、スチーム供給は自動的に停止します。
- 終了前に手動で供給を中断するには、いずれかのターボスチーム選択ボタンを押します(段落5.2を参照)。

6.5 クイックすぎ

本機には、ディスペンスグループを素早くすすぐことができる機能があります。クイックすぎは、次のように行います。

- ポルタフィルター(10 - Fig. 4.1)を器具から取り外し、前のコーヒーのかすを取り除きます。
- ●●ボタンを押します。本機が短時間のディスペンス操作を行います。
- これで次の準備に取りかかることができます。

NB: フラッシュボタン●●は、技術担当者が有効にしてください。

6.6 グラインダードーサー

本機は、Bluetoothで接続された1台または2台の電動グラインダードーサーと組み合わせて使用できます。本機のディスペンスボタンはすべて、レシピのタイプと参照グラインダードーサーに基づいて設定できます。

NB: 技術担当者はグラインダードーサーと連動するように本機を設定する必要があります。

NB: 詳細については、本機とともに使用するグラインダードーサーの取扱指示書を参照してください。

7. プログラム

7.1 タッチスクリーン

本機のプログラミングはサービスディスプレイ(段落5.3を参照)からのみ可能です。

7.1.1 プログラムメニューへのアクセス

- 冏アイコンを押して、サービスディスプレイのメイン画面にアクセスします (Fig. 5.5を参照)。
- アイコン1 - Fig. 5.5を押すと、プログラムメニューが表示されます。

7.1.2 プログラムメニュー



Fig. 7.1 - プログラムメニュー

1. 日時: 押すと、サービスタイムメニューが表示されます(段落7.1.3)。
2. 言語: 押すと、言語選択メニューが表示されます(段落7.1.4)。
3. 情報: 押すと、カウンターメニューが表示されます(段落7.1.5)。
4. ディスペンス: 押すと、用量プログラミングメニューが表示されます(段落7.1.6、7.1.7、7.1.8)。
5. 節約: 押すと、本機は省エネモードで運転します(段落7.1.9)。
6. 照明: 押すと、照明メニューが表示されます(段落7.1.10)。
7. 洗浄: 押すと、洗浄メニューが表示されます(段落7.1.11)。
8. スチーム: 押すと、スチームメニューが表示されます(ターボスチームでのバージョン、段落7.1.12)。
9. カップ: 押すと、カップウォーマーメニューが表示されます(段落7.1.13)。
10. ボイラー温度: 押すと、ボイラー温度メニューが表示されます。
11. 変更: 押して、給湯器の水を交換します(8.3)。

7.1.2.1 プログラムメニューコマンド

ディスプレイ上のボタンを押してプログラムメニューに移動し、次のコマンドを使用してパラメータを変更できます:

- + : 押すと、数値が大きくなるか、次の数値が表示されます
- : 押すと、数値が小さくなるか、前の数値が表示されます
- OK : 押して、変更を確定します
- ← : 押すと、変更内容を確定せずに前の画面やメニューに戻ります
- ↓ : 押して、項目を下にスクロールできます
- ↑ : 押して、項目を上スクロールできます
- ▶ : 押して、設定した用量をテストできます

7.1.3 サービスタイム

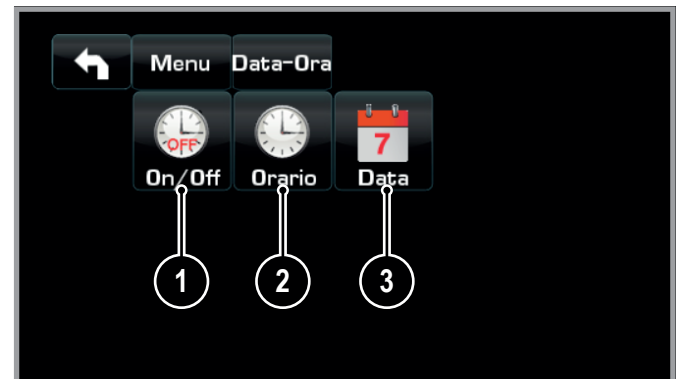


Fig. 7.2 - サービスタイムメニュー

1. オン/オフ: 押して、自動スイッチオン/オフを設定します(段落7.1.3.1)
2. 時刻: 押して、時刻を設定します(段落7.1.3.2)
3. 日付: 押して、日付を設定します(段落7.1.3.3)

7.1.3.1 自動スイッチオン/オフの設定



Fig. 7.3 - オン/オフメニュー

- 有効:3つの異なる値を設定できます:
 - **はい**:自動オン/オフモードが有効で、終了時刻と休業日の設定がされています。
 - **いいえ**:自動オン/オフモードが無効です
 - **エコ**:自動オン/オフモードが有効で、終了時刻と休業日の設定がされています。オフの時間中、本機の抵抗器は完全に停止しないため、給湯器の圧力は0.2 barに保たれます
- オン:スイッチオンの時刻を設定できます
- オフ:スイッチオフの時刻を設定できます
- 休業:休業日を設定できます

7.1.3.2 時刻の設定



Fig. 7.4 - 時刻メニュー

1. 時:時刻設定の時表示に使用します
2. 分:時刻設定の分表示に使用します
3. スタイル:押して、時刻表示のスタイルを設定します

7.1.3.3 日付の設定



Fig. 7.5 - 日付メニュー

1. 日:日付の日表示を設定します
2. 月:日付の月表示を設定します
3. 年:日付の年表示を設定します

7.1.4 言語選択

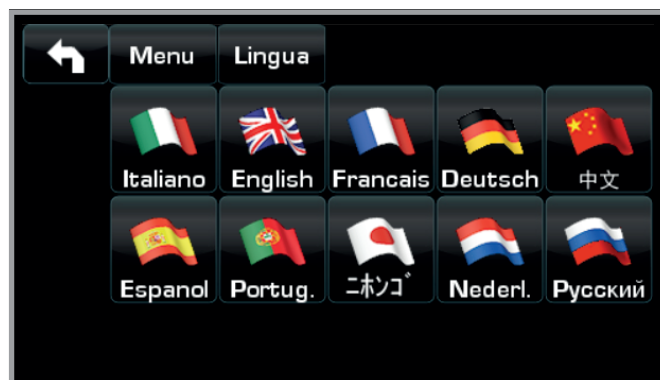


Fig. 7.6 - 言語選択メニュー

- ディスプレイ画面に設定したい言語のアイコンを押します。

7.1.5 メーター

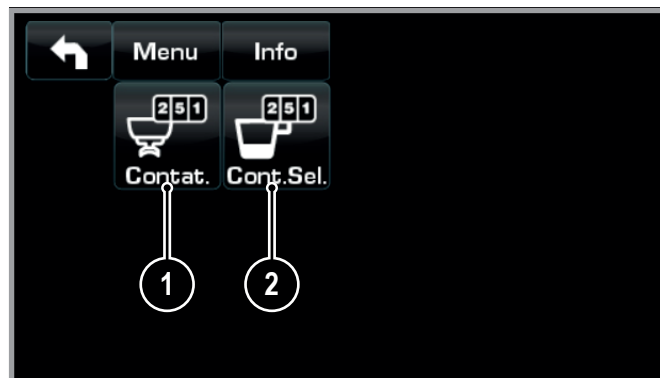


Fig. 7.7 - カウンターメニュー

1. **カウンター**:以下のパラメーターの表示に使用します:
 - **コーヒーグループ** [...]:そのディスペングループがディスペンしたコーヒー系飲料の数
 - **水**:熱湯ディスペン操作の数
 - **スチーム**:ターボスチームセクターのボタン1によるスチーム供給操作の回数(1 - Fig. 5.3)
 - **スチーム+エア**:ターボスチームセクター(2、3、4 - Fig. 5.3)のボタン2、3、4によるスチーム供給操作の回数
 - **コーヒー合計** ディスペンしたコーヒー系飲料の総数
2. **選択数**:次のものに関連する単一のボタンに基づいてディスペンされた飲料の数を確認するために使用します:
 - **ディスペングループ**[...]: 特定のディスペングループの単一のディスペンボタン(1、2、3、4、5 - Fig. 5.1)でディスペンされた飲料の数:

- **熱湯:**単一給湯ボタン(1、2、3 - Fig. 5.2)のディスペンス操作回数
- **スチーム:**ターボスチームセレクターの単一スチームボタン(1、2、3、4 - Fig. 5.3)による供給操作回数

カウンターの値は、リセットボタンを使ってゼロにできます。

7.1.6 用量のプログラム(コーヒー)

- コーヒーグループの一つを選択します(例:グループ3)。



- 選択したディスペンスグループのディスプレイには、ボタンに対応する数字が表示されます。
- プログラミングしたい用量ディスペンスボタンを選択します(例:ボタン1)。



- 選択したボタンのアイコンが、ディスペンスグループディスプレイ上で強調表示されます。
- サービスディスプレイで、選択したボタンのディスペンスをプログラミングします:

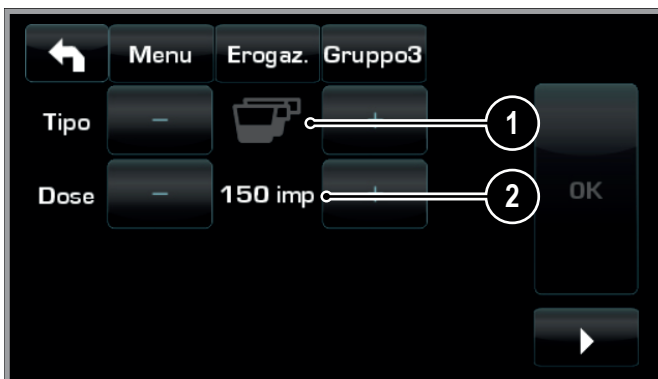


Fig. 7.8 - コーヒーの用量プログラムメニュー

1. **種類:**用量ディスペンスボタンを選択します
2. **用量:**ディスペンス秒数を設定します

▶ ボタンを押して、設定した用量でディスペンステストを実行します。テスト画面には次のパラメーターが表示されます:

- **Vd:**容量式ドーサーの増分カウント
- **Dt:**ディスペンス時刻
- **BT:**瞬間式コーヒーボイラー温度
- **BR:**コーヒーボイラー抵抗器の作動率(%)
- **P:**給湯器圧力
- **Lev:**給湯器内の水位;レベル信号(%)
- **WHr:**給湯器抵抗器
- **WHsv:**給湯器充填電磁バルブ
- **ST:**スチーム温度(ターボスチームワンドプローブ)

7.1.7 用量のプログラム(水)

- 熱湯ディスペンスグループに対応するアイコンを選択します。



- 給水ボタンはサービスディスプレイでプログラムできます。設定可能なパラメーターは次の通りです:

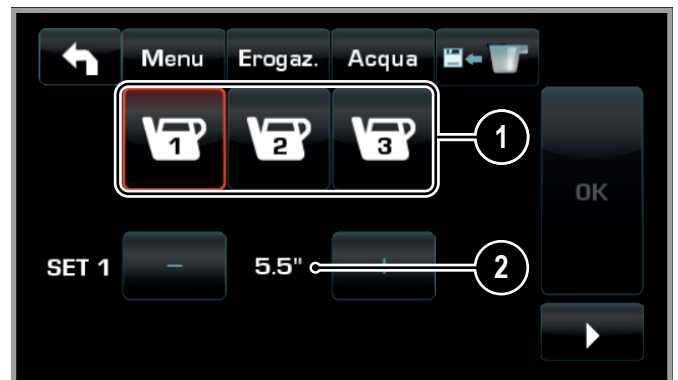


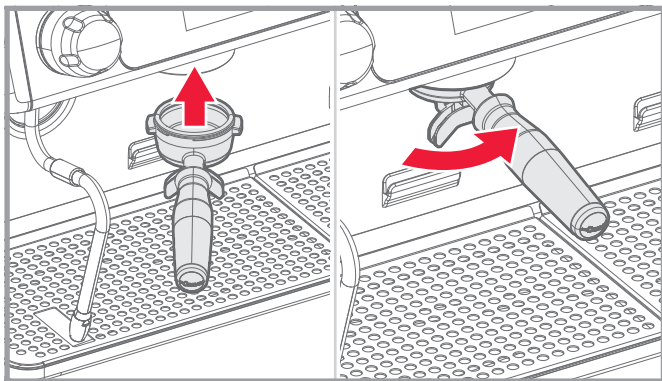
Fig. 7.9 - 水の用量プログラムメニュー

1. プログラムする給水ボタンを選択します。
2. **設定:**ディスペンス時刻を設定します

▶ ボタンを押して、設定した用量でディスペンステストを実行します。

7.1.8 用量のプログラム(自己学習)

- 挽いたコーヒーを入れたポータフィルター(10 - Fig. 4.1)をディスペンスグループに挿入します。



- コーヒーグループの一つを選択します(例:グループ3)。



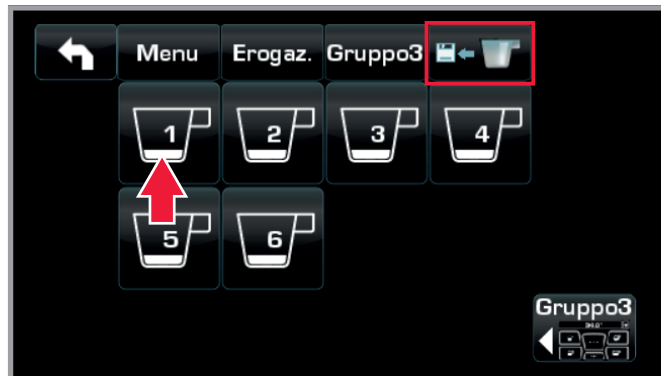
- 選択したディスペンスグループのディスプレイには、ボタンに対応する数字が表示されます。
- 自己学習アイコンを選択します。

NB: 自己学習段階は、赤枠とブザー音で強調表示されます。



- カップをポルタフィルターの注ぎ口の下に置きます。
- ディスペンスグループで、プログラムしたいディスペンスボタンを選択します(例:ボタン1)。

- 選択したボタンのアイコンが、ディスペンスグループディスプレイ上で強調表示されます。
- カップ内で必要量に達したら、同じディスペンスボタンを再度押します。
- 自己学習でプログラミングされた用量を変更するには、サービスディスプレイ上でプログラミングされたディスペンスボタン(例:ボタン1)を選択します。



7.1.9 省エネモード

省エネモードを有効にするには、ボタン5 - Fig. 7.1を押します。

省エネモード:

- 「ENERGY SAVING MODE(省エネモード)」のメッセージがサービスディスプレイ上に表示されます
- ディスプレイの輝度が下がります
- カップウォーマーの加熱レベルは自動的に1に設定されます
- 給湯器圧力が1.2 barより高い値に設定されている場合、レベルは0.8 barに下がります。
- 給湯器圧力が1.2 barより低い値に設定されている場合、設定レベルは0.4 bar下がります。

いずれかのディスペンスボタンを押すと、省エネモードが解除され、本機の作動段階に戻ります。

7.1.10 照明

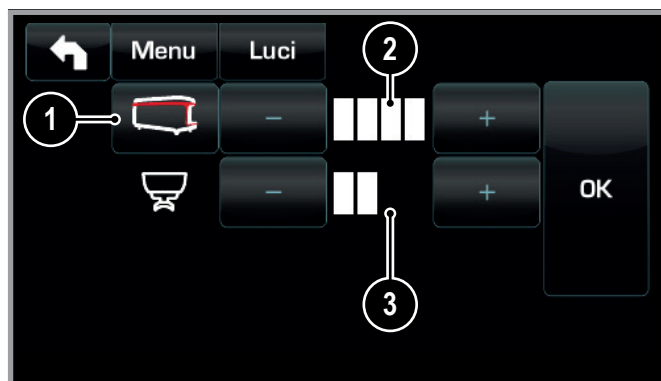


Fig. 7.10 - 照明メニュー

1. **リアLEDバーボタン**: 押すと、リアバーの常時点灯が有効になります。24/7アイコンは、その機能が有効であることを表します。
2. **リアLEDバー**: リアLEDバーのオン/オフの切り替えに使用します。

NB: リアLEDバーの照明は調整できません。

3. **ディスペンスグループライト**: ディスペンスグループの照明強度の設定に使用します。

7.1.11 洗浄

注意: 詳細については、第8章を参照してください。

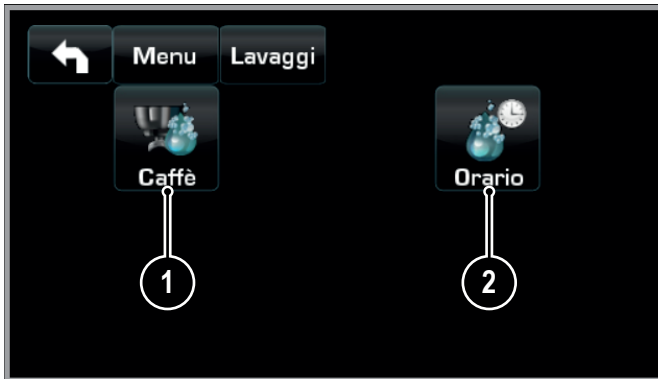


Fig. 7.11 - 洗浄メニュー

1. **コーヒー**: 押して、コーヒー回路を洗浄します(第8章)。
2. **時刻**: 押して、本機のディスプレイに給湯器の水交換リクエストとコーヒー回路洗浄リクエストが表示される時間を設定します(段落7.1.11)。

7.1.11.1 リクエスト時刻

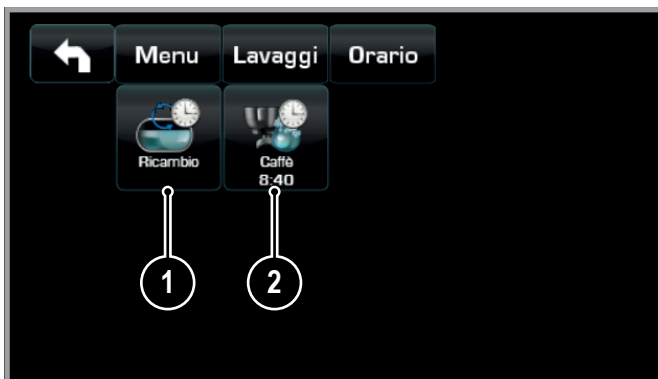


Fig. 7.12 - 時刻メニュー

1. **変更**: 押して、本機のディスプレイに給湯器の水交換リクエストが表示される時刻を設定します。

2. **コーヒー**: 押して、本機のディスプレイにコーヒー回路の洗浄リクエストが表示される時刻を設定します。

7.1.11.2 リクエスト時刻の設定

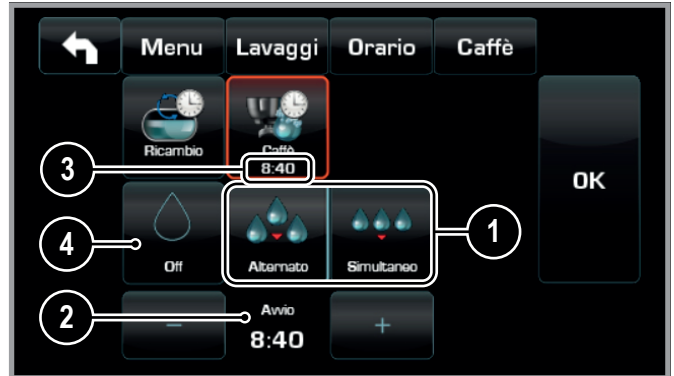
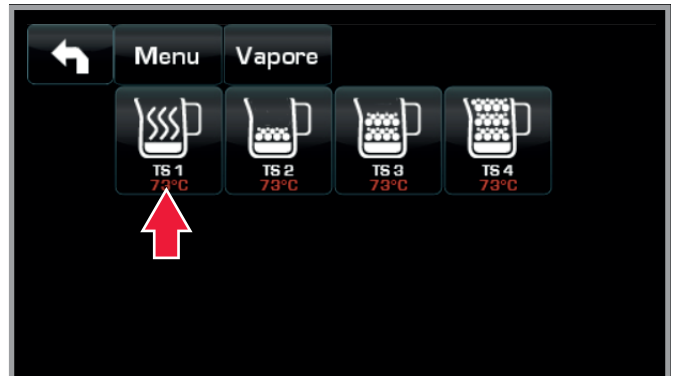


Fig. 7.13 - リクエストの設定

1. 必要な洗浄リクエストの種類を選択します(コーヒー回路のみ)。
2. リクエストの表示時刻を設定し、**OK**ボタンで確定します。
3. 設定された時刻は、該当する交換/洗浄リクエストのアイコンの下に表示されます。
4. **キャンセル**: 押して、時刻指定された洗浄リクエストをキャンセルします。

7.1.12 スチームのプログラム

- プログラムしたいターボスチームボタンを選択します(例:ターボ1、1 - Fig. 5.3)。



- 以下のパラメーターを使用して、選択したボタンのディスペンスをプログラムします:



Fig. 7.14 - スチームの用量プログラムメニュー

1. **スチーム停止時刻**:スチーム供給時刻の設定に使用します
2. **乳化レベル**:乳化レベルの設定に使用します
3. **テスト**:押して、設定された用量で供給テストを実行します

7.1.13 カップウォーマー

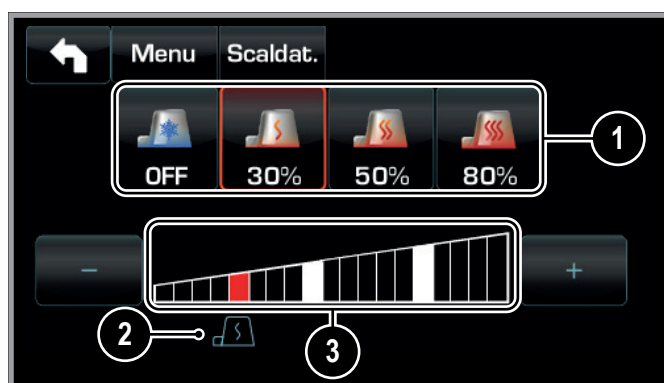


Fig. 7.15 - カップウォーマーの設定

1. カップウォーマーの加熱レベルを選択します。
2. 選択されている加熱レベルを加熱調節スケールに表示します。
3. **加熱調節スケール**:さまざまなカップウォーマーの加熱レベルを表示します(変更することも可能)。

8. クリーニングとメンテナンス

注意:本章で説明されている本機のクリーニングとメンテナンス作業は、指示された頻度で実施する必要があります。

8.1 クリーニングとメンテナンスの頻度の概要

作業	各使用後に	8時間の不 使用後に	一日の 終わりに	ディスプレイにリ クエスト表示が 出たとき	装置
コーヒー回路を洗浄します (段落8.2)			●	●	<ul style="list-style-type: none"> 小ブラシ ブラインドフィルター 粉末洗剤
ディスペンスグループのク リーニングを行います		● (段落6.2)	● (段落8.2)		<ul style="list-style-type: none"> 小ブラシ
給湯器の水を交換します (段落8.3)		●	●	●	
ポルタフィルターのクリー ニングを行います(段落 8.4)			●		<ul style="list-style-type: none"> ジャグ/容器 粉末洗剤 スポンジ
スチームワンドのクリーニ ング	● (段落 8.5.1)	● (段落6.4)	● (段落 8.5.2)		<ul style="list-style-type: none"> ジャグ/容器 スポンジ
ターボスチームワンドのク リーニングを行います	● (段落 8.5.1)	● (段落6.4)	● (段落 8.5.2)		<ul style="list-style-type: none"> ジャグ/容器 スポンジ
熱湯ディスペンサーのク リーニングを行います(段 落8.8)			●		<ul style="list-style-type: none"> スポンジ
グリルとカップホルダート レイのクリーニングを行 います(段落8.6)			●		<ul style="list-style-type: none"> スポンジ
排水トレイのクリーニング を行います(段落8.7)			●		<ul style="list-style-type: none"> ジャグ/容器
本機の外装のクリーニン グを行います(段落8.8)			●		<ul style="list-style-type: none"> やわらかい布
タッチスクリーンディス プレイのクリーニングを行 います(段落8.8)			●		<ul style="list-style-type: none"> やわらかい布
樹脂の再生(段落8.9)				●	
一般的なメンテナンス(段 落8.10)				●	
水フィルターを交換します (段落8.10)				●	

Tab. 8.1 - クリーニングとメンテナンスの頻度

8.2 コーヒー回路の洗浄

注意: コーヒー回路の洗浄サイクルを実行しないと、油脂や水垢が蓄積しやすくなり、本機の作動効率が低下します。

警告: 火傷の危険; 洗浄サイクル中は、手や体の一部をディスペンスグループに近づけないでください。

警告: ディスペンス中は、本機からポルタフィルターを取り外さないでください。

コーヒー回路の洗浄サイクルを実行する必要があります:

- 本機のスイッチをオンにして、加圧した状態で;
- 一日の終わりに、または本機のリクエストに応じて。

NB: 本機からの洗浄リクエストは、操作が実行されるまで繰り返されます。ロックアウト機能が有効な場合、リクエストから1時間以内に回路が洗浄されないと、飲料ディスペンス機能が停止します。

コーヒー回路はさまざまな方法で洗浄できます:

- **交互:** 洗浄サイクルは順番に、そして各グループごとに実行されます。洗浄中でないグループは使用を継続できます。
 - 継続時間: 各ディスペンスグループに7分。
- **一斉:** すべてのグループが同時に洗浄されます。
 - 継続時間: 合計で7分。
- **単一:** 洗浄サイクルは、他のグループを含めずに、特定のグループに対して実行できます。洗浄中でないグループは使用を継続できます。
 - 継続時間: 各ディスペンスグループに7分。

NB: 本機から洗浄リクエストが出される場合は、単一の洗浄サイクルは実行できません。

注意: 時刻設定された洗浄サイクルが開始されると、それを中断することはできません (本機のスイッチを切ることもできない)。突然の停電が発生した場合、電流が復帰するとサービスディスプレイに「RUN WASHING CYCLE (洗浄サイクル実行)」のメッセージが表示されます。

8.2.1 コーヒーディスペンスグループ

コーヒー回路の洗浄サイクル中、本機のディスペンスグループがサービスディスプレイに表示されます:

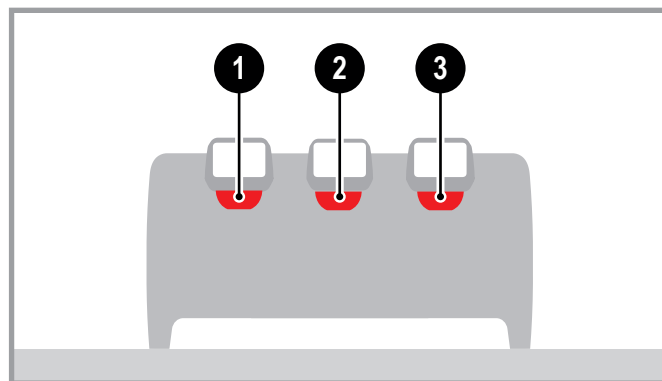


Fig. 8.1 - コーヒーディスペンスグループ

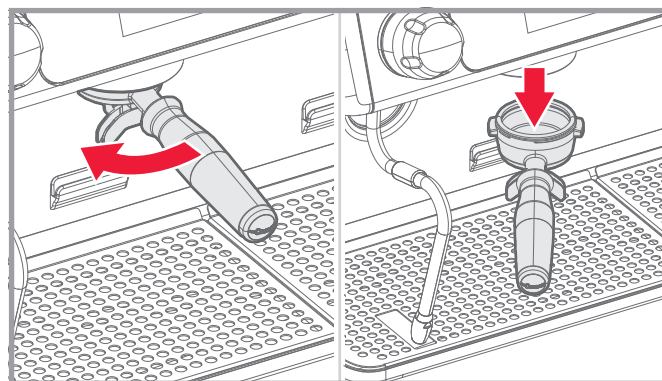
1. グループ1
2. グループ2
3. グループ3

8.2.2 交互洗浄

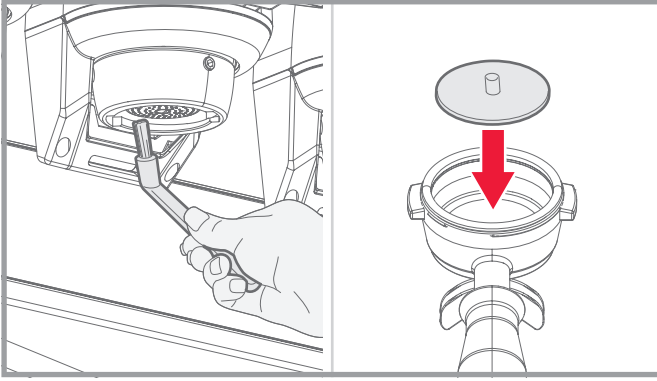
- サービスディスプレイには、グループ1の洗浄リクエストが表示されます。



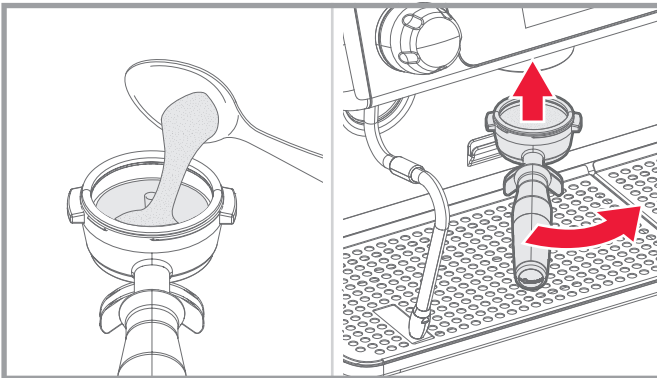
- ポルタフィルター(10 - Fig. 4.1)をグループ1から取り外します。



- 付属の小ブラシを使って、ディスペンスグループのガスケットのクリーニングを行います。
- ブラインドフィルターをポルタフィルターに挿入します。



- 粉末洗剤5g(コーヒースプーン約2杯分)をポルタフィルターに入れます。
- ポルタフィルター(10 - Fig. 4.1)をグループ1に挿入します。



- OK アイコンを押します。



- OK アイコンを押します。



- グループ1の洗浄サイクルが開始されます。

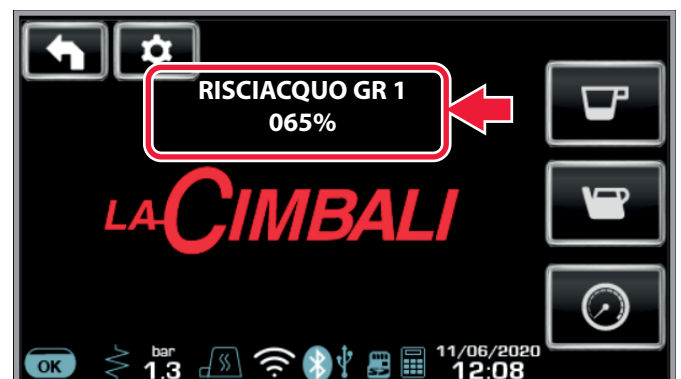
- サービスディスプレイには「WASHING GR 1 (グループ1 洗浄中)」のメッセージと進行状況が表示されます。



- グループ1の洗浄サイクルが終了すると、「REMOVE PORTAFILTRO GRUPPO 1 (グループ1のポルタフィルター取り外し)」のメッセージが表示されます。
- ポルタフィルター(10 - Fig. 4.1)をグループ1から取り外します。
- OK アイコンを押します。



- グループ1のすすぎサイクルが始まります。
- 「RINSING GR1 (グループ1すすぎ中)」のメッセージと、進行状況が表示されます



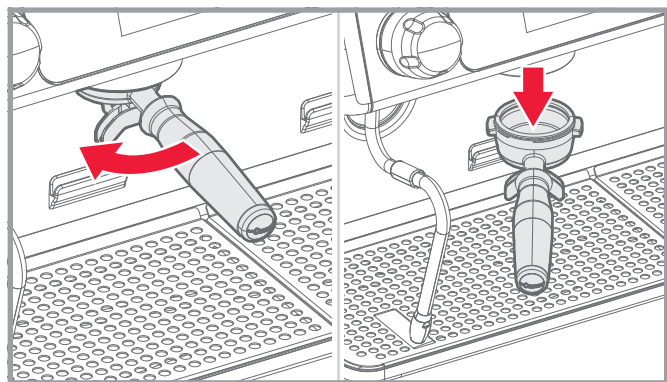
- グループ1の洗浄操作が終了すると、グループ2の洗浄リクエストが表示されます;続いてグループ3、グループ4と続きます。
- 本機のすべてのデispensグループに対して、この手順を繰り返します。

8.2.3 一斉洗浄

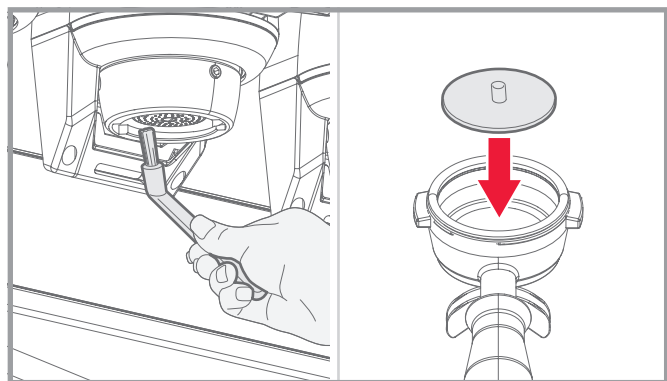
- サービスディスプレイに、一斉洗浄のリクエストが表示されます。



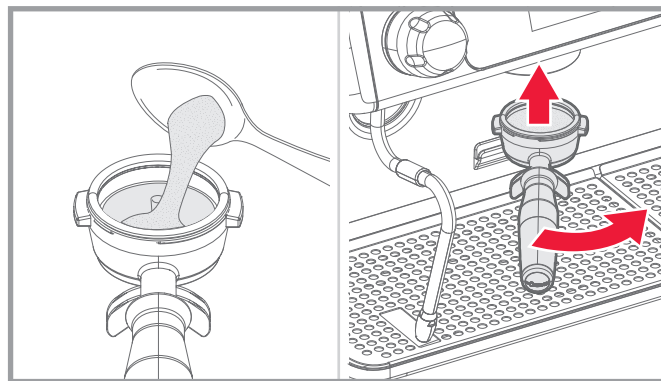
- ディスペンスグループからポルタフィルター(10 - Fig. 4.1)を取り外します。



- 付属の小ブラシを使って、ディスペンスグループのガスケットのクリーニングを行います。
- ブラインドフィルターをポルタフィルターに挿入します。



- すべてのポルタフィルターに粉末洗剤5g(コーヒースプーン約2杯分)を入れます。
- ポルタフィルター(10 - Fig. 4.1)をディスペンサーグループに挿入します。



- OK アイコンを押します。



- OK アイコンを押します。



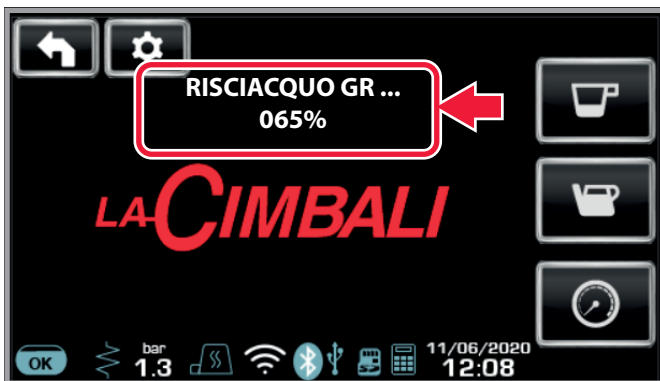
- ディスペンスグループの洗浄サイクルが開始されます。
- サービスディスプレイには、「WASHING GR ... (グループ洗浄中)」のメッセージと進行状況が表示されます。



- 洗浄サイクルの最後に、「REMOVE PORTA-FILTERS (ポルタフィルター取り外し)」のメッセージが表示されます。
- ディスペンスグループからポルタフィルター (10 - Fig. 4.1) を取り外します。
- **OK** アイコンを押します。




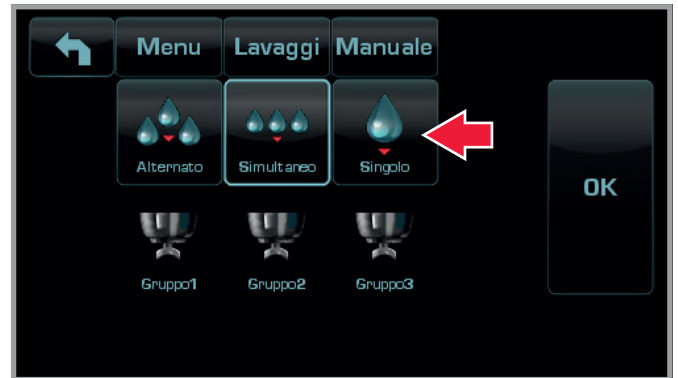
- ディスペンスグループですすぎサイクルが開始されます。
- 「RINSCIACQUO GR ... (グループすすぎ中)」のメッセージと、進行状況が表示されます。



- すすぎ段階が終わると、コーヒー回路の洗浄サイクルは完了です。

8.2.4 単一洗浄サイクル

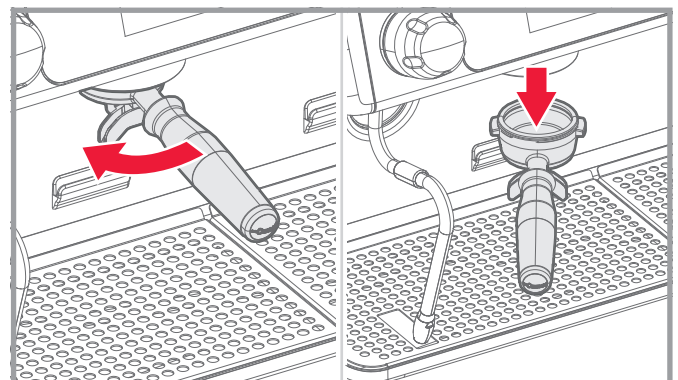
-  アイコンを押して、サービスディスプレイのメイン画面にアクセスします。
- アイコン1 - Fig. 5.5を押すと、プログラムメニューが表示されます。
- アイコン7 - Fig. 7.1を押すと、洗浄メニューが表示されます。
- アイコン1 - Fig. 7.11を押すと、コーヒー回路洗浄メニューが表示されます。
- 単一洗浄サイクルのアイコンを押します。



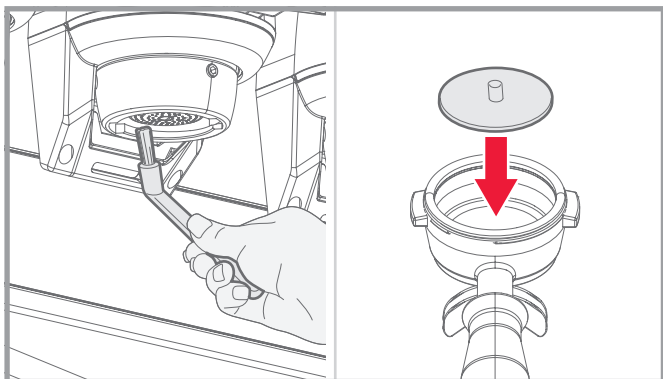
- 洗浄を行いたいディスペンスグループを選択します (例: グループ1)。



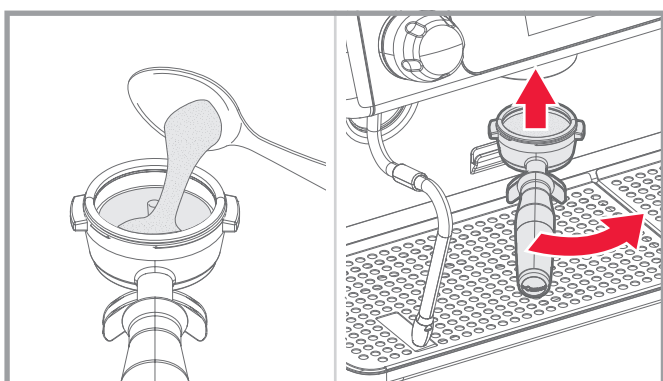
- ポルタフィルター (10 - Fig. 4.1) をグループ1から取り外します。



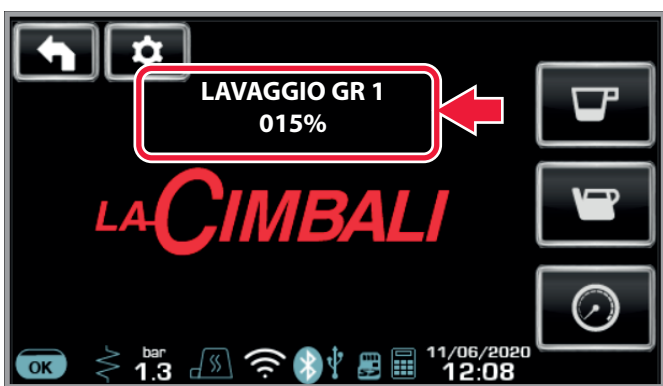
- 付属の小ブラシを使って、ディスペンスグループのガスケットのクリーニングを行います。
- ブラインドフィルターをポルタフィルターに挿入します。



- 粉末洗剤5g(コーヒースプーン約2杯分)をポルタフィルターに入れます。
- ポルタフィルター(10 - Fig. 4.1)をグループ1に挿入します。
- **OK** アイコンを押します。



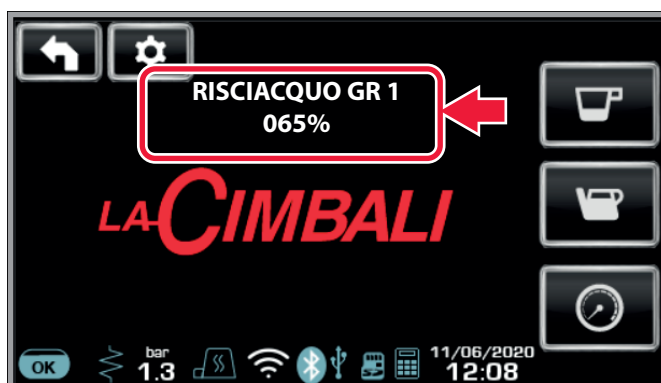
- グループ1の洗浄サイクルが開始されます。
- サービスディスプレイには「WASHING GR 1(グループ1 洗浄中)」のメッセージと進行状況が表示されます。



- グループ1の洗浄サイクルが終了すると、「REMOVE PORTAFILTER GROUP 1(グループ1のポルタフィルター取り外し)」のメッセージが表示されます。
- ポルタフィルター(10 - Fig. 4.1)をグループ1から取り外します。
- **OK** アイコンを押します。




- グループ1のすすぎサイクルが始まります。
- 「RINSING GR1(グループ1すすぎ中)」のメッセージと、進行状況が表示されます



- すすぎ段階が終わると、コーヒー回路の洗浄サイクルは完了です。
- 洗浄したいグループすべてにこの手順を繰り返します。

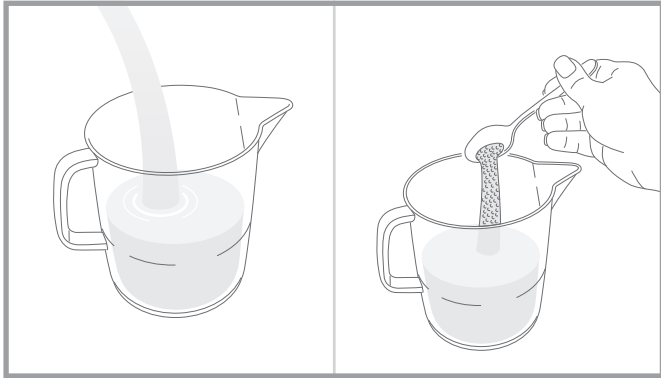
8.3 給湯器の水の交換

警告:給湯器の水は少なくとも1日に1回は交換する必要があります。

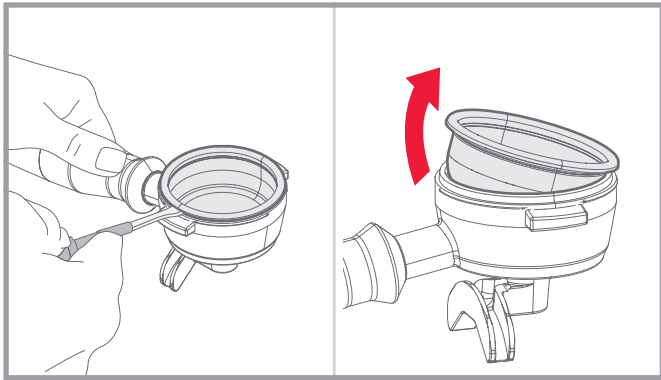
-  アイコンを押して、サービスディスプレイのメイン画面にアクセスします。
- アイコン1 - Fig. 5.5を押すと、プログラムメニューが表示されます。
- プログラムメニューで変更アイコン (11 - Fig. 7.1)を押します。
- サービスディスプレイに「CHANGE WATER(水を交換)」のメッセージが表示され、熱湯ディスペンサーから熱湯が(全容量の60~70%)排出されます(6 - Fig. 4.1)。ディスペンスは自動的に終了します。
- ディスペンスが終わると、本機は通常操作に戻り、給湯器には新しい水が補充されます。

8.4 ポルタフィルターのクリーニング

- 適当な容器(アルミ製や鉄製は不可)に1リットルのお湯(50～80℃)と10gの粉末洗剤(コーヒー Spoon 4杯程度)を入れます。



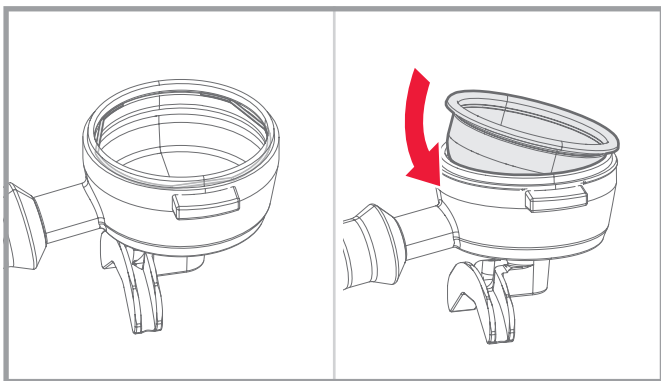
- ポルタフィルターからフィルターを取り外します。



- フィルターとポルタフィルターを溶液に少なくとも15分間浸します。

注意:ポルタフィルターの金属部分のみを浸してください。

- 研磨剤の入っていないスポンジで汚れを落とし、たっぷりの冷水で洗い流します。
- フィルター固定スプリングが所定の位置にあることを確認します。
- ポルタフィルターにフィルターを再装着します。



8.5 スチームワンドのクリーニング

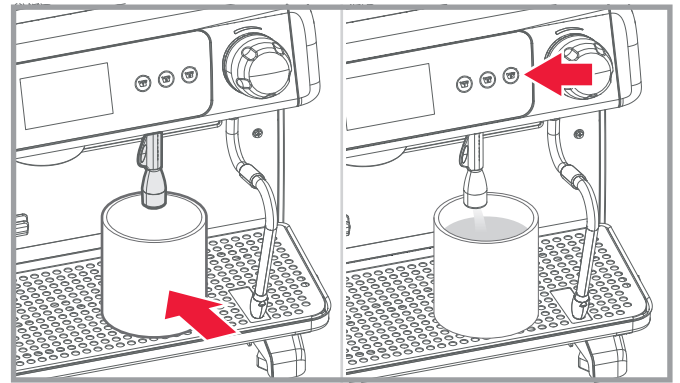
警告:火傷の危険;水およびスチームパイプを取り扱う際は、適切な断熱器具を使用してください。

8.5.1 各使用後に

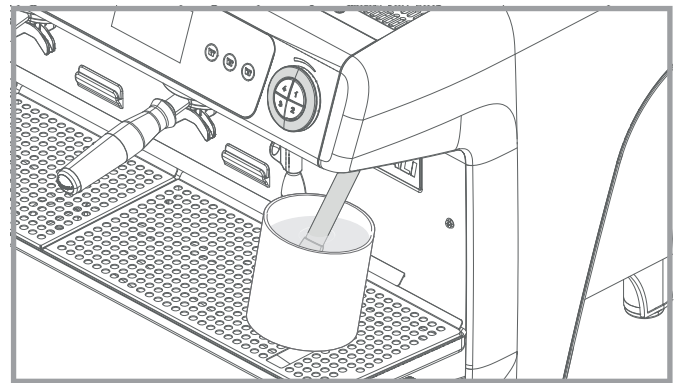
- スポンジとお湯を使ってワンドの外側をクリーニングし、有機残留物を取り除きます。十分にすすぎます。
- ワンドをカップホルダートレイに向け、スチームを短く放出します。

8.5.2 一日の終わりに

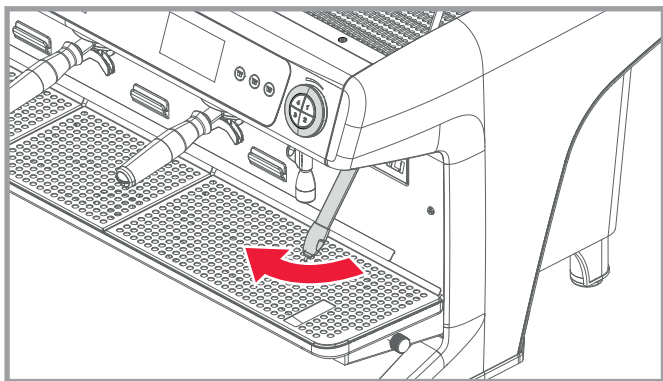
- 適切な大きさの容器を熱湯ディスペンサー(6 - Fig. 4.1)の下に置きます。
- ミルクに触れていたワンドの部分を覆うのに十分な量の熱湯(90℃以上)を注ぎます。



- ワンドを容器に入れ、少なくとも30分間浸します。



- 容器から水を除き、十分にすすぎます。
- 熱湯に触れていたワンドの部分を覆うのに十分な水を容器に入れます。
- ワンドを容器に入れます。
- ワンドを使用して、容器内の水を65℃以上に加熱します。
- 容器から水を除き、十分にすすぎます。
- ワンドをカップホルダートレイに向け、少なくとも10秒間スチームを放出します。

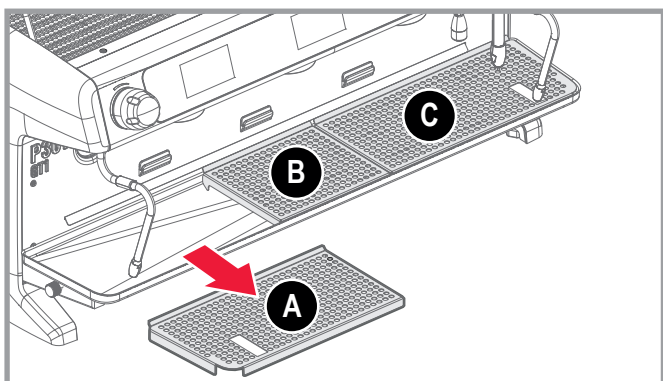


- 繊維が残らないように、少し湿らせた研磨剤の入っていないスポンジでワンドを乾かします。

8.6 グリルとカップホルダートレイのクリーニング

NB: 次の操作は、本機のスイッチを切った状態でも行うことができます。

- カップホルダートレイからグリル(A、B、C)を取り外します。

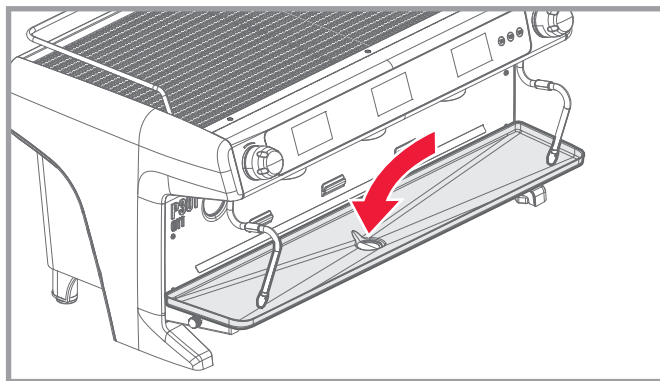


- カップホルダートレイを流水でクリーニングします。

8.7 排水トレイのクリーニング

NB: 次の操作は、本機のスイッチを切った状態でも行うことができます。

- カップホルダートレイからグリルを取り外します。
- ジャグの熱湯を排水回収トレイに注ぎ、付着物を取り除きます。



8.8 本機の外装のクリーニング

注意:アンモニアや研磨剤、脱脂剤を含む製品は使用しないでください。

注意:ボディパネルの隙間に液体をスプレーしないでください。

NB: 表面の色の違いは欠陥ではなく、本機の特徴です。

NB: 次の操作は、本機のスイッチを切った状態でも行うことができます。

- 本機の外装を柔らかい布で拭き、作動エリアに残った有機物を取り除きます。

8.9 樹脂再生

本機は、軟水器の樹脂再生を定期的にリクエストするように設定されています。この操作の必要性は、サービスディスプレイに表示されるメッセージで示されます (Tab. 8.2を参照)。

この作業を行うには、それぞれの軟水器の説明書類を参照してください。

リクエスト	メッセージ	作業アイコン
樹脂再生	CARRY OUT RESIN REGENERATION (樹脂再生実行)	
Tab. 8.2 - 樹脂再生		

8.10 サービスメンテナンス

警告:この段落に記載されている作業は、許可を受けた正規技術者のみが行ってください。

本機は、定期的に以下のメンテナンス作業(サービスディスプレイに表示される)を実施するように設定されています。

リクエスト	メッセージ	作業アイコン
一般メンテナンス	CARRY OUT MAINTENANCE (メンテナンス実行)	
水フィルターを交換します	FILTER REPLACEMENT (フィルター交換)	

Tab. 8.3 - サービスメンテナンス

サービスメンテナンスの実施については、技術サポートサービスにお問い合わせください。

8.11 クリーニング製品

製造者 (Fig. 8.2) により認可されたクリーニング製品は、コード番号を指定することにより、器具販売店に注文できます:

参照	コード	説明
A	610-004-159	ミルク泡立て器用液
B	610-004-280	ディスペンスグループ、ポルタフィルター、コーヒーカップ用パウダー
C	610-004-254	ディスペンスグループ、ポルタフィルター、コーヒーカップ用パウダー
D	610-004-217	全自動マシンのディスペンスグループ用タブレット
E	610-004-251	ホッパーとディスプレイ用のエコクリーナーズプレー洗剤

Tab. 8.4 - エコラインのクリーニング製品

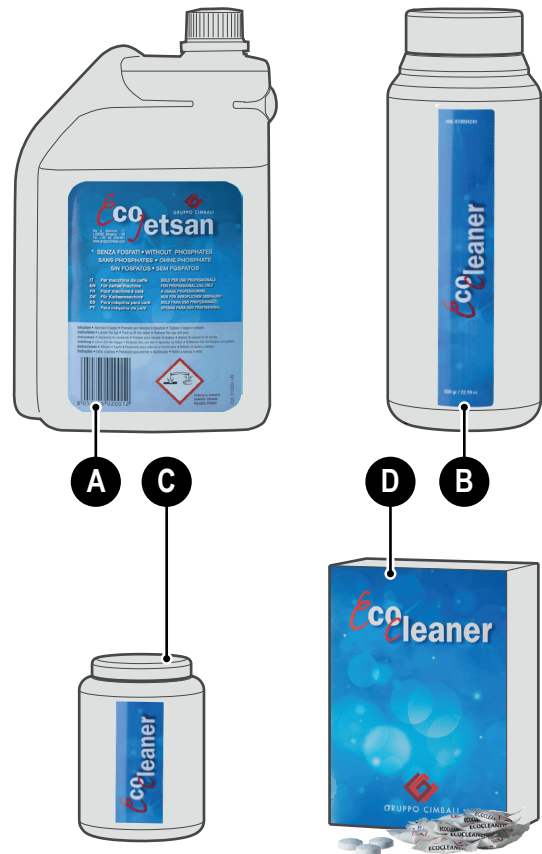


Fig. 8.2 - エコラインのクリーニング製品

9. 機器の廃棄

警告:本機は、現行の規制に従い、廃棄物の分別回収の対象になっています。

本機は、耐用年数の終了時に、電気電子機器廃棄物(WEEE)に関する第2指令 2012/19/EUが組み込まれたイタリア立法令49/2014に準拠するため、以下の指示に従って廃止する必要があります。

本機の廃棄は、製造者によって組織され、管理されます。本機を廃棄する場合は、製造者に連絡し、製造者が定める手順に従って、耐用年数終了時に部品を分別回収してください。

その後のリサイクル、処理、環境に適合した廃棄のために本機を分別回収することは、環境や健康への危害の可能性を回避し、本機に含まれる材料の再利用やリサイクルを促進することになります。

使用者が本機を不適切に廃棄した場合、適用法により罰則が課される可能性があります。



10. 故障と不具合

問題	原因	解決方法
本機は作動せず、ディスプレイ(4 - 図4.1)は消灯しています。	電力がありません。	主電源がオンになっていることが確認します。 メインスイッチがオンになっていることを確認します(1 - 図4.1)。
ポルタフィルターからの水漏れ(10 - 図4.1)。	ディスペンスグループのガスケットにコーヒーが付着しています。	付属の小ブラシでクリーニングを実施します。
コーヒーのディスペンス時間が短すぎます。	コーヒーの挽き方が粗すぎます。	バリの間隔を狭めます。
	コーヒーが古すぎます。	コーヒーを交換します。
コーヒーがポタポタと出てきます。	フィルター穴が詰まっているか、ポルタフィルターのコーヒー抽出穴(10 - 図4.1)が汚れています。	フィルター穴またはコーヒー抽出口をクリーニングします。
	コーヒーの挽き方が細かすぎます。	バリの間隔を広げます。
本機の下から水が漏れています。	ドレンサンプが詰まっています。	ドレンサンプをクリーニングします。
	ドリップトレイの穴が詰まっています。	ドリップトレイの穴をクリーニングします。
機器は熱いのにコーヒーが出てきません。 セルフベリング装置が作動し続けています。	元栓または軟水器の栓が閉まっています。	元栓を開きます。
	水道水が通っていません。	水道水の供給が再開されるまで待つか、技術者に連絡して問題を解決します。

注意:問題が解決しない場合は、技術サポートサービスにお問い合わせください。

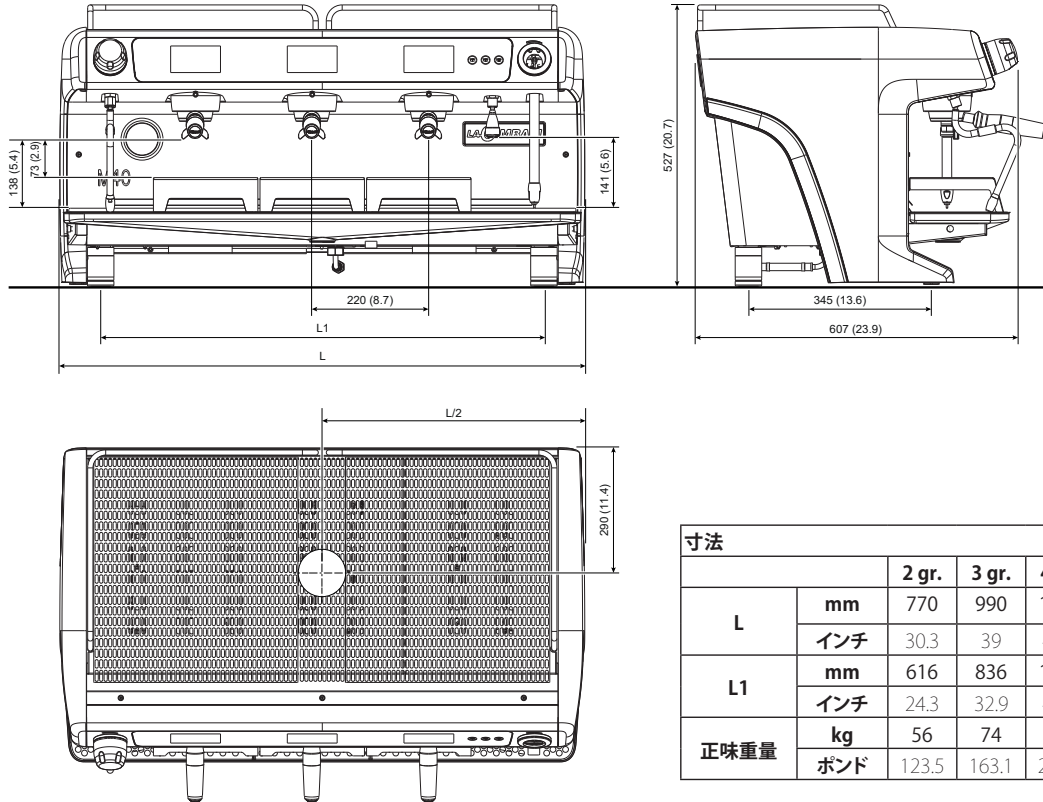
10.1 ステータス表示

表示	原因	解決方法
機械が冷えています。待ちます	ディスペンスボタンを押しましたが、給湯器が設定操作圧力に達していません。	給湯器が作動圧力に達するまで待ちます。
メンテナンスを実施します	マシンには整備メンテナンスが必要です。表示を一時的にキャンセルするには、プログラムメニューに進み、対応する整備アイコンを押します (Tab. 8.3を参照) このメッセージは、次に本機の電源を入れたときに再び表示されます。	機器のメンテナンスについては、技術サポートサービスにご連絡ください。
樹脂再生を実施します	本機は樹脂再生整備をリクエストしています。特定の軟水器の説明書類を参照します。	樹脂再生を実施します。メッセージを削除するには、プログラミングメニューに移動し、整備アイコンを押します (Tab. 8.2を参照)
フィルターの交換	本機は水フィルターの交換をリクエストしています。表示を一時的にキャンセルするには、プログラムメニューに進み、整備アイコンを押します (Tab. 8.3参照) メッセージは一定の間隔で再表示されます。	水フィルターの交換については、技術サポートサービスにご連絡ください。
マシンオフ	本機はスタンバイモードになっています。	いずれかのディスペンスボタンを押してスタンバイモードを終了し、本機を強制的にオンにします。
省エネモード	本機は省エネモードになっています。	いずれかのディスペンスボタンを押すと、省エネモードが解除され、本機の作動段階に戻ります。
洗浄に関するメッセージ		段落8.2を参照してください。

11. 技術データ

NB: 製造者は、事前の通知なしに変更または改良を加える権利を留保します。

LA CIBALI



機械	電力供給	設置電力	ライン電流	電源ケーブル部
2 GR.	380-415V 3N 50-60 Hz	7.2-8.6 kW	10.4A	5 x 1.5mm ² または5 x 2.5 mm ²
	220-240V 3 50-60 Hz		22 A	4 x 2.5 mm ²
	220-240V 50-60 Hz		31 A	3 x 4 mm ² or 3 x 6 mm ²
3 GR.	380-415V 3N 50-60 Hz	7.4-8.8 kW	12.5A	5 x 1.5mm ² または5 x 2.5 mm ²
	220-240V 3 50-60 Hz		22A	4 x 2.5 mm ²
	220-240V 50-60 Hz		37A	3 x 6 mm ²
4 GR.	380-415V 3N 50-60 Hz	7.4-8.8 kW	18A	5 x 1.5mm ² または5 x 2.5 mm ²
	220-240V 3 50-60 Hz		28 A	4 x 2.5 mm ²
	220-240V 50-60 Hz		43.5A	3 x 6 mm ²

スイッチ	- オムニポーラ、接点開口距離3 mm -漏電遮断 (30 mA)
アースング	- 必須
水圧接続	- ø 3/8 ガス
水圧供給圧力	- 1 ÷ 6 bar (0.6 MPa)
水圧排出	- φ 最小50 mm

Cimbali Group S.p.A.

Via A. Manzoni, 17
20082 Binasco (MI), Italy